

2019年度自然科学研究機構基礎生物学研究所 共同利用研究公募要項

1. 公募事項

- (1) 重点共同利用研究
- (2) モデル生物・技術開発共同利用研究
- (3) 個別共同利用研究
- (4) 統合ゲノミクス共同利用研究
- (5) 統合イメージング共同利用研究
- (6) 研究会
- (7) 大型スペクトログラフ共同利用実験
- (8) トレーニングコース実施
- (9) 生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究

※ 上記の各事項はいずれも2019年4月～2020年3月の期間とします。

2. 申込資格

申込者（提案代表者）については、以下の（1）から（3）のいずれかに該当する研究者とします。

- (1) 大学及び公的研究機関に所属する常勤の研究者
- (2) 大学及び公的研究機関に所属する非常勤の研究者のうち、以下の①、②のいずれかに該当する者。
 - ①e-Rad に「科研費の応募資格有り」として研究者情報が登録されている研究者。
 - ②研究活動を行うことを職務として大学又は公的研究機関に所属し、実際に研究活動に従事している研究者（大学院生は除く）。
- (3) 基礎生物学研究所長が十分な研究能力を有すると認めた者

また、分担者として、（1）から（3）に該当する研究者に加えて、大学院生、学部学生、技術職員等も参加することが可能です。

3. 申込方法

今回の公募より、自然科学共同利用・共同研究統括システム（NOUS）（※）を利用したWEB申込みとなりますので、ログインページ（<https://nous.nins.jp/user/signin>）よりアクセスしてください。

なお、施設利用以外の共同利用研究を希望する場合には、申込み前にあらかじめ本研究所の最も関連があると思われる研究部門・研究室の教員と、研究課題、研究計画、来所予定期間、必要経費等について打ち合わせてください。（「研究部門・研究室一覧」等を参照）

申込みに際して所内関連研究部門・研究室（所内対応者）との事前打合せが行われていない場合には、採択できません。

※自然科学共同利用・共同研究統括システム（NOUS : NINS Open Use System）とは、自然科学研究機構が実施する共同利用・共同研究の申請から審査、採択、成果報告・公表、分析に至るまでを統合的に管理することを目指して整備を進めているWEBシステムです。

4. 受付期間

2018年11月1日（木）から2018年12月10日（月）まで

ただし、(1)重点共同利用研究、(2)モデル生物・技術開発共同利用研究、(9)生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究を除く公募事項は、所内対応者と打ち合わせの上、必要と認める場合には、申込期限以降でも随時受け付けます。

なお、随時申込みの場合は、以下の取り扱いとなります。

・随時申込みの受付期間は、「2019年4月1日から同年10月末日まで」とします。

※随時申込みの場合は、月末までに受付けた申請を翌月の審査に付します。

採否の決定に約2ヶ月かかる場合もありますのでご承知お願いします。

5. 採否決定

運営会議の議を経て基礎生物学研究所長（以下、「所長」という。）が決定します。

6. 採否決定の時期

2019年3月頃

7. 所要経費

本研究所の予算の範囲内において支出します。（経費は、基礎生物学研究所で使用していただきます。ただし、生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究については、研究計画の範囲内において、事前に手続きした上で他の機関で使用する事が可能です。）

8. 旅費の支給

本研究所の予算の範囲内において自然科学研究機構役職員旅費規程により支給します。

なお、共同利用研究者（指導教員）に帯同又は指導教員の指示の下、来所する学部学生の旅費も支払い可能です。

※ 学部学生に旅費を支給する際は、「自然科学研究機構基礎生物学研究所における共同利用研究に参加する学部学生の取り扱いについて」により事前手続きを行ってください。

なお、大学院生及び学部学生については、財団法人日本国際教育支援協会の学生教育研究災害傷害保険（付帯賠償責任保険を含む。）又はこれと同等以上の保険に加入していることが条件となります。

※ 予算の都合により、日当・宿泊費を減額したり支給できない場合がありますので、予めご了承ください。

9. 放射線業務従事認定申請書の提出

各共同利用研究、共同利用実験において、本研究所でラジオアイソトープを使用される場合は、採択後、放射線業務従事者登録手続きが必要となります。

10. 遺伝子組換え実験計画書の提出

各共同利用研究、共同利用実験において、遺伝子組換え実験を伴う場合は、所内関連研究部門・研究室から実験計画書を提出していただくことになります。

なお、基礎生物学研究所では、ZFN、TALEN、CRISPR-Cas9 等のゲノム編集は遺伝子組換え実験と同等に扱います。

11. 動物実験計画書の提出

各共同利用研究、共同利用実験において、動物実験を伴う場合は、実験計画書を提出していただくことになります。

基礎生物学研究所では、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類及び魚類を用いる実験が動物実験の対象になります。所属機関にて動物実験に関する教育・訓練を受講していない方が上記の動物を用いて研究を実施される際は、事前に本機構において必要な教育・訓練を受講していただく必要があります。

通常、教育・訓練には2時間程度が必要です。教育・訓練を必要とされる場合には、事前に所内対応者を通じてご相談ください。

12. ヒトゲノム・遺伝子解析研究

各共同利用研究・共同利用実験において、本研究所で「ヒトゲノム・遺伝子解析研究」を伴う場合は、採択後、岡崎3機関生命倫理審査委員会の審査が必要となります。

13. 研究報告書の提出

共同利用研究終了後30日以内に提案代表者から研究報告書を所長へ提出していただきます。なお、この研究報告書は本研究所共同利用研究報告書等に掲載することをご承知おき願います。

研究報告書の提出が無い場合は、次年度の申請は原則として受け付けませんので、必ず提出してください。

報告書の提出にあたっての詳細については、採択決定後に提案代表者に別途通知します。

14. 研究成果の発表

共同利用研究の成果を学術論文として発表する場合には、本研究所共同利用研究に基づく成果であることを必ず付記していただくとともに、当該論文のPDFファイルを所長に提出していただきます。

謝辞記載例)

This work was supported by NIBB Collaborative Research Program(〇〇-〇〇〇) to
** (研究代表者イニシャル) .

※カッコ内には採択時に通知される課題番号をご記入ください。

15. 知的財産権の取扱について

自然科学研究機構職務発明等規程（平成16年自機規程第12号）に定めるところによることとします。

16. 宿泊施設

自然科学研究機構岡崎共同利用研究者宿泊施設（三島ロッジ、明大寺ロッジ）を利用できます。

17. 個人情報について

公募により提供された個人情報は、課題審査及びNOUS内での運用を目的としてのみ利用します。

また、採択された課題については、本研究所のホームページ及び要覧に提案代表者氏名、所属、研究課題名等を掲載しますので、ご承知おき願います。

18. 育児支援について

空きがある場合に事業所内保育施設が利用できます。利用を希望される場合は、利用希望日の6週間前を目安に下記までお問い合わせください。

自然科学研究機構 岡崎統合事務センター

総務部 総務課 総務係

電話 (0564) 55-7112 (ダイヤルイン)

e-mail sakuraho@orion.ac.jp

※ さくら保育園ホームページ

<http://www.orion.ac.jp/sakura/>

19. 問い合わせ先

〒444-8585 岡崎市明大寺町字西郷中 3 8

自然科学研究機構 岡崎統合事務センター

総務部 国際研究協力課 共同利用係

電話 (0564) 55-7133 (ダイヤルイン)

e-mail r7133@orion.ac.jp

公募事項別の内容

1. 重点共同利用研究

基礎生物学分野において、独創的で世界を先導する研究を創成し、発展させるため、他の研究機関の研究者と所内の教員が共同して行う複数のグループからなる研究。（公募期間外の随時申請は受け付けません。）

(1) 申込者（提案代表者）

所内、所外いずれの研究者であっても差し支えないものとします。

(2) 研究期間

1年以上3年を超えない期間（2年以上継続する場合、年度ごとに申込みをしていただき、共同利用研究委員会において採否を審査します。）

(3) 研究費（本研究所の予算の範囲内において支出します。）

1件あたり年間上限300万円まで、ただし人件費の支出はできません。

(4) 研究報告

研究期間終了時に研究成果報告会を開催していただくことを予定しています。

2. モデル生物・技術開発共同利用研究

生物学研究に有用な新しいモデル生物の確立および解析技術開発に向けて、他研究機関の研究者と所内の教員が共同して行う研究。

本共同利用研究は新しいモデル生物の確立や解析技術の開発が生物学の進展に極めて重要であるとの観点から推進するもので、以下の研究が含まれます。

1) モデル生物の創成、改良等新規なモデル生物の確立にむけた研究

2) 新たな解析技術の開発、改良にむけた研究

3) モデル生物や新規解析技術の普及を目指すワークショップ等の開催

（公募期間外の随時申請は受け付けません。）

(1) 申込者（提案代表者）

所内、所外いずれの研究者であっても差し支えないものとします。

(2) 研究期間

1年以上5年を超えない期間（2年以上継続する場合、年度ごとに申込みをしていただき、共同利用研究委員会において採否を審査します。）

(3) 研究費（本研究所の予算の範囲内において支出します。）

1件あたり年間上限100万円まで、ただし人件費の支出はできません。

3. 個別共同利用研究

他の研究機関の研究者が、所内の教員と協力して行う個別プロジェクト研究。

(1) 研究期間

1年以内。更新可能。（年度毎に共同利用研究委員会において審査します。）

(2) 申込者（提案代表者）

所外の研究者に限ります。

(3) 経費配分

共同利用研究の実施に必要な基礎生物学研究所までの交通費及び日当・宿泊料を本研究
所の予算の範囲内において配分します。（研究費の助成はありません。）

また、過去に本研究所共同利用研究に通算して5年以上採択されている場合は、これ
までの研究実績（成果論文の発表等）により、配分金額を調整する場合があります。

4. 統合ゲノミクス共同利用研究

基礎生物学研究所が運用している次世代DNAシーケンサーを使用したハイスループット遺
伝子解析、および、大規模計算機システム（生物情報解析システム）を活用したゲノム関連
データ解析を中心に、他研究機関の研究者あるいは所内の研究者が、生物機能解析センター
と共同して行う研究です。これは、ゲノミクス研究の目覚ましい発展とともに変化する共同
利用研究のニーズに応えるために、従来の次世代DNAシーケンサー共同利用実験と大規模計
算機システムを用いた共同利用実験を統合して、2016年度から開始しました。

(1) 申込者（提案代表者）

所内、所外いずれの研究者であっても差し支えないものとします。

(2) 研究期間

1年以内。更新可能。（年度毎に共同利用研究委員会において審査します。）

(3) 研究課題

主たる担当教員を以下のように配置しますが、研究課題に応じて柔軟に対応します。

A. ゲノミクス（担当教員：重信秀治 特任准教授（cai@nibb.ac.jp））

当研究所の生物機能解析センターでは、イルミナ社のHiSeqとMiSeq、およびパシフィック
バイオ社の PacBio RS II の次世代DNAシーケンサーを運用しています。また高度なラ
イブラリ調製やデータ解析のための設備も整備されています。（<http://www.nibb.ac.jp/analyins/>）
これらを活用して、実験計画からデータ解析まで緊密な連携の上で共同研究を行います。
特に、既存技術では不可能だった興味深い生命現象へのアプローチや、次世代シーケンシ
ングの新規応用法の開発に関する課題を歓迎します。生物種は問いません。また、ゲノム
やトランスクリプトーム解析のみならず、次世代シーケンシング技術を使った多様なオミ
クス解析（例：エピゲノミクスやエコゲノミクスなど）や、質量分析装置を用いるプロテ

オミクスやメタボロミクスなど、多階層のオミクスデータを統合的に解析する課題も歓迎します。

B. バイオインフォマティクス（担当教員：内山郁夫 助教（uchiyama@nibb.ac.jp））

当研究所では、大規模な計算機クラスター、共有メモリ計算サーバ、大容量ファイルサーバなどから構成される計算機システム（生物情報解析システム）を運用しており、このシステムを活用したゲノム関連データ解析（比較ゲノム解析や各種オミクス情報を統合したデータベースの構築など）の共同研究を行います。特に、既存のソフトウェアを利用したデータ処理にとどまらず、既存の方法論の改良や新たな解析アプローチの開発を含む研究や、公的データベースのデータをも活用した大規模なデータ解析、広く研究コミュニティに貢献する有用なデータベースの構築などの研究課題を歓迎します。

(4) 経費配分

共同利用研究の実施に必要な基礎生物学研究所までの交通費及び日当・宿泊料を本研究の予算の範囲内において配分します。（研究費の助成はありません。）

また、過去に本研究所共同利用研究に通算して5年以上採択されている場合は、これまでの研究実績（成果論文の発表等）により、配分金額を調整する場合があります。

(5) 打ち合わせ

申込み前にあらかじめ、上記担当教員と研究課題、研究計画、必要経費について十分な打ち合わせを行ってください。

5. 統合イメージング共同利用研究

基礎生物学研究所が運用している特色ある先端光学機器を用いた実験・研究を行うとともに、生物画像処理・解析に関するニーズや課題を解決することを目的とします。他研究機関の研究者あるいは所内の研究者が、基礎生物学研究所の教員（当研究所を併任する、生命創成探究センターの専任教員を含む）と共同して行う研究です。2015年度までDSL共同利用実験、生物画像処理・解析共同利用研究、および個別共同利用研究として運用されてきたバイオイメージングに関する共同利用実験を「統合イメージング共同利用研究」に統合し、最先端の光学機器と最先端の解析技術による共同研究を幅広くサポートします。

(1) 申込者（提案代表者）

所内、所外いずれの研究者であっても差し支えないものとします。

(2) 研究期間

1年以内。更新可能。（年度毎に共同利用研究委員会において審査します。）

(3) 研究課題

主たる担当教員を以下のように配置しますが、研究課題に応じて柔軟に対応します。

- A. 先端顕微鏡利用（担当教員：亀井保博 特任准教授（ykamei@nibb.ac.jp）、野中茂紀 准教授（snonaka@nibb.ac.jp））

基礎生物学研究所では、赤外線照射によって組織個体内の任意の部位に目的遺伝子を発現させる IR-LEGO システム、深部観察能と低褪色低光毒性に強みを持つ 2 光子顕微鏡、高速性と低褪色低光毒性に強みを持つ光シート顕微鏡 DLSM、といった光学機器を運用しています。これらを用いた光照射、光制御、イメージング等の共同利用研究を行います。

- B. 生物画像処理・画像解析（担当教員：加藤 輝 生命創成探究センター（基礎生物学研究所併任）・特任助教（kkat@nibb.ac.jp））

光学顕微鏡、電子顕微鏡等で取得された画像データに対し、①新規の画像処理・解析手法の開発、②アプリケーションソフトウェアの開発研究、③画像解析を目的とした実験系の構築、など、生物画像解析に関わる共同研究を行います。

(4) 経費配分

共同利用研究の実施に必要な基礎生物学研究所までの交通費及び日当・宿泊料を本研究の予算の範囲内において配分します。（研究費の助成はありません。）

また、過去に本研究所共同利用研究に通算して 5 年以上採択されている場合は、これまでの研究実績（成果論文の発表等）により、配分金額を調整する場合があります。

(5) 打ち合わせ

申込み前にあらかじめ、上記担当教員と研究課題、研究計画について十分な打ち合わせを行ってください。

6. 研究会

基礎生物学分野において重要な課題を対象とした比較的少人数の研究討論集会

(1) 申込者（提案代表者）

所内、所外いずれの研究者であっても差し支えないものとします。なお、提案者の中に所内の教員が少なくとも 1 名は参加していなければなりません。

(2) 開催期間・場所

開催期間は 3 日間を限度とし、本研究所において開催していただきます。

なお、岡崎コンファレンスセンターを利用することができます。利用申込に際しての詳細は、国際研究協力課共同利用係（Tel: 0564-55-7138（ダイヤルイン））に問い合わせてください。

(3) 経費配分

研究会における発表者の基礎生物学研究所までの交通費及び日当・宿泊料を本研究の予算の範囲内において配分します。（研究費の助成はありません。）

7. 大型スペクトログラフ共同利用実験

大型スペクトログラフを使用して、本研究所が設定した実験課題について行われる実験・研究

(1) 実験課題

生物の多様な機能を制御する各種の光受容系の機構の解明を行うため、共同利用実験の課題として次の4つの研究テーマが設定されています。

- I 「光情報による細胞機能の制御」
- II 「光エネルギー変換」
- III 「生物における空間認識・明暗認識」
- IV 「紫外線による生体機能損傷と光回復」

なお、本研究所の大型スペクトログラフ（詳細事項については、<http://www.nibb.ac.jp/l spectro/ols/>を参照ください。）は、高分解能・高強度の単色光を広波長領域にわたって、同時照射することが可能な光の作用を高度に解析するための装置です。このような性能を生かした研究を効率良く行うため、あらかじめ充分な予備実験等を行った上、本装置での照射実験をご計画ください。

(2) 申込みに当たっての留意事項

申込み前にあらかじめ生物機能解析センター・光学解析室 亀井特任准教授（Tel: 0564-55-7535 E-mail: ykamei@nibb.ac.jp）と十分に事前打ち合わせを行ってください。

(3) 経費配分

大型スペクトログラフ共同利用実験の実施に必要な基礎生物学研究所までの交通費及び日当・宿泊料を本研究所の予算の範囲内において配分します。（研究費の助成はありません。）

8. トレーニングコース実施

基礎生物学に関連する研究技術の普及を目的としたトレーニングコース開催のための実習室の利用

(1) 利用方法

大学及び公的研究機関、学術団体の企画する講習会等を対象とします。所内の教員が少なくとも1人は企画に関わり、申請代表者になることを前提とします。

(2) 申込みにあたっての留意事項

トレーニングコース実習室の詳細については、http://www.nibb.ac.jp/course_lab/ をご覧ください。不明な点は本研究所担当者 広報室 倉田特任助教（Tel: 0564-55-7628 E-mail: tkurata@nibb.ac.jp）までお問い合わせください。

(3) 経費配分

トレーニングコース開催における講師及び補助者の基礎生物学研究所までの交通費及び日当・宿泊料、また実施に必要な試薬等の消耗品費を本研究所の予算の範囲内において配分します。

9. 生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究

研究に利用される様々な生物遺伝資源を安定に長期保存する技術を確立・改良し、将来的にはそれら資源のIBBPセンターでのバックアップ保管に資することを目指して行う研究です。他機関の研究者あるいは所内の研究者が、IBBPセンターあるいはIBBP大学サテライト拠点の教員と共同して、生物遺伝資源の新規長期保存方法の樹立を目指すものです。

本共同利用研究は、長期保存技術の開発が生物遺伝資源の安定保存に重要であり、新規モデル生物の樹立にも直接資するとの観点から推進するものであり、以下の研究が含まれます。

- 1) 長期保存技術が確立していない生物遺伝資源の凍結、低温、常温を含む新規保存技術の開発
- 2) 低温保存技術の改良に資する基礎的な低温生物学的研究
(公募期間外の随時申請は受け付けません。)

(1) 申込者（提案代表者）

所内、所外いずれの研究者であっても差し支えないものとします。

(2) 研究期間

1年以上5年を超えない期間（2年以上継続する場合、年度ごとに申込書を提出していただき、共同利用研究委員会において採否を審査します。）

(3) 研究費（本研究所の予算の範囲内において支出します。）

1件あたり年間上限200万円まで、ただし人件費の支出はできません。

(4) 打ち合わせ

申込み前に、基礎生物学研究所IBBPセンター担当者（成瀬清特任教授（naruse@nibb.ac.jp）・竹鶴裕亮特任助教（htake@nibb.ac.jp））と研究課題、研究計画、必要経費について打ち合わせてください。

10. その他

双方向性の共同研究を推進するため、上記の公募型共同利用研究の他に、基礎生物学研究所の個々の研究者の提案に基づく提案型共同研究も随時実施しております。本研究の成果についても共同利用研究の成果として共同利用研究報告書に併せて掲載いたします。

研究部門・研究室一覧

(2019年4月1日予定)

	研究部門名	教授	電話番号	准教授	電話番号	助教	電話番号
細胞生物学領域	細胞動態研究部門	上田 貴志	55-7530			海老根 一建 金澤 生彦	55-7529
	定量生物学研究部門	青木 一洋	59-5235			近藤 洋平	59-5235
	クロマチン制御研究部門	中山 潤一	55-7680			濱田 京子 片岡 研介	55-7681
	神経細胞生物学研究室			椎名 伸之	55-7620	中山 啓	55-7623
	幹細胞生物学研究室			坪内 知美	55-7693		
	オルガネラ制御研究室			真野 昌二	55-7500		
発生生物学領域	生殖細胞研究部門	吉田 松生	59-5865			北中 館川 祐徳 高橋 弘樹	59-5866
	形態形成研究部門	上野 直人	55-7570	木下 典行	55-7573	矢三 部 泰二郎 井 優輔	55-7572 55-7574
	分子発生学研究部門	高田 慎治	59-5241			小野 山 宏史 々村 恵子	59-5243
	初期発生研究部門	藤森 俊彦	59-5860			木村 有希子	59-5862
神経生物学領域	神経行動学研究部門	東島 眞一	59-5875				59-5876
	神経生理学研究室			渡辺 英治	59-5595		
進化多様性生物学領域	生物進化研究部門	長谷部 光泰	55-7546	村田 隆	55-7549	石川 雅樹 玉田 洋介	55-7548 55-7545
	共生システム研究部門	川口 正代司	55-7564	征矢野 敬	55-7563	藤田 浩徳	55-7563
	進化発生研究部門	新美 輝幸	55-7606			安藤 俊哉 中村 太郎	55-7608
	バイオリソース研究室	(特任) 成瀬 清	55-7554			安齋 賢	55-7579
	構造多様性研究室			児玉 隆治	55-7578		
	多様性生物学研究室					大野 薫	55-7555
						鎌田 芳彰	55-7536
						定塚 勝樹	55-7692
						梅根 一夫	55-7521
						星野 敦	55-7534
						作田 拓	
						加藤 輝(特任)	55-7513
環境生物学領域	環境光生物学研究部門	皆川 純	55-7515	高橋 俊一	55-7517	得津 隆太郎	55-7517
	植物環境応答研究部門	森田 美代	55-7556			西村 岳志	55-7557
理論生物学領域	ゲノム情報研究室					内山 郁夫	55-7629
イメージングサイエンス研究領域	時空間制御研究室			野中 茂紀	55-7590		

	研 究 部 門 名	教 授	電話番号	准教授	電話番号	助 教	電話番号
モデル生物研究センター	哺乳動物飼育開発支援ユニット			渡 辺 英 治	59-5595		
	モデル動物解析支援ユニット			渡 辺 英 治	59-5595		
	小型魚類飼育開発支援ユニット						
	メダカバイオリソースユニット	(特任) 成 瀬 清	55-7554				
	器官培養研究支援室			渡 辺 英 治	59-5595		
	モデル植物研究支援室					星 野 敦 夫 梅 根 一 夫	55-7534 55-7521
	アサガオバイオリソースユニット					星 野 敦	55-7534
生物機能解析センター	生物機能情報分析室			(特任) 重 信 秀 治	55-7670		
	光 学 解 析 室			(特任) 亀 井 保 博	55-7535		
	情 報 管 理 解 析 室					内 山 郁 夫	55-7629
IBBP センター		(特任) 成 瀬 清	59-5932			(特任) 竹 鶴 裕 亮	59-5931
新規モデル生物開発センター				(特任) 鈴 木 賢 一			
生命創成探究センター	創 成 研 究 領 域	高 田 慎 治	59-5241			矢 部 泰 二 郎 三 井 優 輔	59-5243
		青 木 一 洋	59-5235			近 藤 洋 平	59-5235
		東 島 眞 一	59-5875			木 村 有 希 子	59-5876
				野 中 茂 紀	55-7590		
				椎 名 伸 之	55-7620	中 山 啓	55-7623
				(特任) 宮 成 悠 介	59-5850		
						加藤 輝 (特任)	55-7513
				(特任) 川 出 健 介	59-5883		

電話はダイヤルイン方式になっておりますので、0564-部門電話番号をダイヤルしてください。また、所内対応者の最新情報は、基生研ホームページ対応研究部門・施設一覧 (<http://www.nibb.ac.jp/sections/>) をご覧ください。

研究部門・研究室の紹介

○細胞動態研究部門

ゴルジ体や液胞などの単膜系オルガネラ間を結ぶ物質輸送機構、“膜交通”は、原始真核生物からヒトや植物を含む現存の生物に至るまで保存された普遍的な細胞機能である。一方で、真核生物の各系統は多様性に満ちた体制や生命現象を獲得しており、その発現においても、各オルガネラの機能や膜交通が重要な役割を担っている。我々が研究対象とする植物においても、形態形成や自然免疫、環境応答などの植物独自の現象に膜交通が深く関与することが、我々をはじめとする各国の研究グループにより明らかにされている。我々の研究室では、シロイヌナズナとゼニゴケのオルガネラ機能や膜交通の分子機構を比較解析することにより、陸上植物において膜交通経路やオルガネラ機能の新生や多様化がいかにして起こってきたのかを明らかにするとともに、それがどのような形質の進化と関わっているのかを明らかにするべく研究を行っている。

教授 上田 貴志 (TEL: 0564-55-7530) tueda@nibb.ac.jp

http://www.nibb.ac.jp/sections/cell_biology/ueda/

○定量生物学研究部門

細胞とは、外界からの入力情報を処理し、表現型を出力するシステムと捉えることができる。そのシステムの実態は細胞内のシグナル伝達系であり、極論すると物理化学的な反応の連鎖である。従って、理論的には全て微分方程式で記述し、コンピュータで数値計算することで全ての要素の振る舞いとその結果としての表現型を予測することが可能である。しかし、反応を計算するための定量的な情報が現状では圧倒的に不足している。本研究部門では、細胞がもつ特徴的な表現型である「増殖」、「分化」、「細胞死」に関わるシグナル伝達系を定量的に理解することを目指している。生化学、分子生物学、細胞生物学、イメージングなどの手法を用いた反応パラメーターの測定、コンピュータを用いた数値計算、さらに光や化学物質によるシグナル伝達系の摂動などを組み合わせて研究を進める。

教授 青木 一洋 (TEL: 0564-59-5235) k-aoki@nibb.ac.jp

http://www.nibb.ac.jp/sections/cell_biology/aoki/

○クロマチン制御研究部門

真核細胞のゲノムには、高度に凝縮したヘテロクロマチンと呼ばれる構造が存在している。このヘテロクロマチンは、転位因子（トランスポゾン）や反復配列など、本来ホストのゲノムにとって不必要な配列の増幅を抑制するために重要な構造であるばかりでなく、セントロメアやテロメアなど、染色体の正確な分配や構造の維持に必要な機能ドメインの形成に寄与するとともに、エピジェネティックな遺伝子発現の制

御にも重要な役割を果たしている。したがって、このヘテロクロマチンを形成する分子メカニズムが明らかになれば、複雑なエピジェネティック現象の理解につながると考えられる。様々なモデル生物による研究から、このヘテロクロマチンの形成過程に、二本鎖の RNA によって引き起こされる RNA サイレンシングと呼ばれる現象の関与が明らかにされているが、その分子機構の詳細には依然数多くの謎が残されている。本研究部門では、分裂酵母、哺乳類動物細胞、繊毛虫類テトラヒメナを用いて、生化学的、遺伝学的、分子生物学的手法を統合して、高次クロマチン構造の形成メカニズムの解明に取り組んでいる。

教授 中山 潤一 (TEL: 0564-55-7680) jnakayam@nibb.ac.jp

http://www.nibb.ac.jp/sections/cell_biology/nakayama/

○神経細胞生物学研究室

DNA→mRNA→タンパク質という遺伝子発現は生命活動の根幹であるが、神経細胞ではこの遺伝子発現のうち、タンパク質への翻訳が局所的に制御されている。すなわち、一部の重要なmRNAが神経樹状突起へ輸送され、入力があったシナプス近傍で局所的にタンパク質へ翻訳される。このmRNA輸送・局所的翻訳制御によって、入力強度・頻度の高いシナプスが選択的に強化され、それが記憶や学習に重要であることが明らかにされてきている。樹状突起へのmRNA輸送と局所的翻訳制御に中心的な役割を果たしているのがRNA granuleと呼ばれる巨大複合体である。本研究室ではRNA granuleに局在するRNA結合タンパク質およびmRNAを同定、解析するとともに、それらがシナプス機能、神経ネットワーク形成、さらには記憶や学習などにどのような役割を果たすかについて、マウスを用いて分子レベルから個体レベルまで研究をおこなっている。

准教授 椎名 伸之 (TEL: 0564-55-7620) nshiina@nibb.ac.jp

<http://www.nibb.ac.jp/neurocel>

○幹細胞生物学研究室

胚性幹細胞は個体内の全ての細胞種を生み出す能力（多能性）を持つ特殊な細胞集団である。不思議なことに、動物の多能性幹細胞の多くは、発生初期に一過的にのみ出現し、その後消失する。また、細胞周期制御やDNA損傷応答に関して他の細胞種と異なる点が多いが、多能性制御との関連性は不明である。本研究室では、多能性幹細胞の細胞周期の大部分をしめるDNA複製の制御に焦点を当て、多能性制御とゲノム恒常性維持との関連性について解析を進めている。また通常、個体内では分化細胞が脱分化して多能性を再獲得することはない。どのような制御が脱分化を妨げていて、その破綻が細胞に対してどのような影響を持つのか、細胞融合の実験系を用いて分子レベル、細胞レベルで研究を行っている。

准教授 坪内 知美 (TEL: 0564-55-7693) ttsubo@nibb.ac.jp

<http://www.nibb.ac.jp/stemcell/>

○オルガネラ制御研究室

真核細胞の特徴であるオルガネラ（細胞小器官）は、いつも定常状態で機能しているのではなく、個体の成長に伴う細胞分化や環境変化に応答して柔軟に機能を変換させ、新たに生成したり逆に消失したりと、極めて動的なふるまいを示す。こうしたオルガネラの動的変動が、種子の発芽や環境適応、種子形成など植物個体が示す様々な生命現象の基盤となっている。本研究室では、植物ペルオキシソームとオイルボディを主たる研究対象として、細胞生物学、分子生物学、遺伝学、生理学などの手法とイメージング技術を組み合わせ、オルガネラの機能発現や形成機構を分子レベルで明らかにすることを目指している。

准教授 真野 昌二 (TEL: 0564-55-7500) mano@nibb.ac.jp

<http://www.nibb.ac.jp/plantorganelles/>

○生殖細胞研究部門

有性生殖を営む多細胞動物において、配偶子-卵子と精子-を作る生殖細胞は、次の世代に遺伝情報を正確に伝達する。一方、多数の配偶子を継続して生産することにより子孫を確実に残すことが担保される。本研究部門では、マウス精子形成を主な対象として、正確性と生産性を併せ持つ配偶子形成の謎に挑戦している。継続する精子形成を支える「幹細胞」の細胞としての実体、その精巣内での振る舞い、細胞集団としてのダイナミクス、それを制御する「ニッチ」の実態と機能、これらの機能を支える分子メカニズム—これらを中心課題に据えて、形態学、分子遺伝学、ライブイメージング、数理統計解析など多角的方法論で研究を進めている。

教授 吉田 松生 (TEL: 0564-59-5865) shosei@nibb.ac.jp

<http://www.nibb.ac.jp/germcell/>

○形態形成研究部門

受精した卵が細胞分裂を繰り返しながら生物固有の形づくりを進行する過程、すなわち形態形成には個々の細胞の形態変化や移動による3次元的な組織リモデリングが必須である。細胞分化によって新たな形質を、また細胞骨格の再構成によって新たな形態や細胞極性を獲得した細胞は、それぞれの運命にしたがって正しく配置されることによって、形態的、機能的に洗練された器官、そして個体を形づくる。本研究部門では形態形成を司る細胞外シグナルや物理的な力に焦点をあて、細胞・組織ダイナミクスを解明することを目指して、ホヤ、アフリカツメガエルなどモデル動物を用いた研究を行っている。

教授 上野 直人 (TEL: 0564-55-7570) nueno@nibb.ac.jp

准教授 木下 典行 (TEL: 0564-55-7573) nkinoshi@nibb.ac.jp

<http://www.nibb.ac.jp/morphgen/>

○分子発生学研究部門

動物の形態形成のさまざまな局面で分泌性タンパク質は重要な働きを担っている。本研究部門では脊椎動物の体幹部の初期発生をモデルに、形態形成過程における分泌性タンパク質の作用機構を解明することを目指している。具体的には、分泌性タンパク質およびその標的遺伝子の機能を、遺伝子改変マウスやアフリカツメガエルを用いて解析すること、ならびに体幹部形成変異体の探索とその解析を、ゼブラフィッシュを用いて行っている。

教授 高田 慎治 (TEL: 0564-59-5241) stakada@nibb.ac.jp

<http://www.nibb.ac.jp/~cib2/>

○初期発生研究部門

動物の発生は受精卵に始まり、やがて明確な体軸を持つ構造が形成される。ほ乳類受精卵には将来の体軸に関わる情報は偏って存在していないが、マウスでは受精後約6日目には将来の体軸を見いだすことができる。ほ乳類胚において、体軸を決める情報がどのように胚の中に形成され、形として具現化されるかを解明することを目指している。主にマウスを用い、ライブイメージング、細胞系譜解析などの手法により、胚の中での細胞の挙動を明らかにする。ライブイメージング観察用の一連のレポータートランスジェニックマウスの作製および維持、胚の培養、顕微鏡装置の開発も行っている。個々の細胞の個性がどのように獲得され、胚全体の形が形成されるかについても研究を進めている。

教授 藤森 俊彦 (TEL: 0564-59-5860) fujimori@nibb.ac.jp

<http://www.nibb.ac.jp/sections/fujimori.html>

○神経行動学研究部門

運動・行動を作り出す際の中枢神経系神経回路の作動様式を、単一神経細胞レベルの解像度で明らかにすることは、神経科学の大きな目標の1つである。本研究部門は、シンプルな中枢神経系を持つ小型魚類を用い、動物の行動が作り出される際の神経系の動作様式の解明を目指している。さまざまなタイプの神経細胞を特異的にラベルするトランスジェニックフィッシュを多数作製し、(i) 特定のタイプの神経細胞の活動パターンを電気生理学やイメージングによって計測すること、(ii) 光遺伝学手法などを用いて、特定のタイプの神経細胞の活動を人為的に制御すること、が研究手法の中心である。現在、ゼブラフィッシュ幼魚を用い、(1) 遊泳リズムの作られる仕組み、(2) 運動のスピードを切り替える仕組み、(3) 胸びれと体幹の動きを協調させる仕組みの解明を中心に研究を進めている。

教授 東島 眞一 (TEL: 0564-59-5875) shigashi@nibb.ac.jp

<http://www.nibb.ac.jp/sections/neurobiology/higashijima/>

○神経生理学研究室

(モデル生物研究センター モデル動物研究支援室 哺乳動物飼育開発支援ユニッ

ト・モデル動物解析支援ユニット、小型魚類飼育開発支援ユニット、器官培養研究支援室)

動物の行動生物学が中心課題。現在はメダカとヒトの視覚系の解析を中心に、行動生物学的な研究を行っている。視覚の動物と言われるメダカとヒトに心理物理学的なアプローチを行うことによって、動物の見るメカニズム、そして行動の原理を明らかにしていく。多くの動物は見るという能力を発達させることによって、生存競争に勝ち残ってきた。見るメカニズムを明らかにすることで、脳の、そして動物の理解が深まると考える。

准教授 渡辺 英治 (TEL: 0564-59-5595) eiji@nibb.ac.jp

<http://www.nibb.ac.jp/neurophys/>

○生物進化研究部門

全ての生物は約40億年前に生じた一つの祖先生物から進化してきた。現生生物に見られる多様性は40億年間に蓄積した突然変異によって引き起こされたものである。従って、生物進化の痕跡は現生生物のゲノム上に記されている。

しかし、ゲノムを見ただけでは表現型進化にどんな遺伝子が関わったのかはわからない。ゲノムを改変してはじめて、ゲノムのどこが表現型に影響を与えるのかを明らかにできる。我々は、ゲノム解読とゲノム改変を通して、生物進化の鍵となった以下の3つの現象が、どのような遺伝子のどのような変化によって進化したのかを解明する。

(1) 陸上植物の体制進化

(2) 植物の食虫性と運動の分子機構解明と進化

(3) 分化細胞から幹細胞への変化を担う分子機構と進化

教授 長谷部 光泰 (TEL: 0564-55-7546) mhasebe@nibb.ac.jp

准教授 村田 隆 (TEL: 0564-55-7549) tkmurata@nibb.ac.jp

<http://www.nibb.ac.jp/evodevo>

○共生システム研究部門

マメ科植物は根粒菌（原核生物）の感染をうけると根に細胞分裂を誘導し、根粒という共生窒素固定器官を形成する。一方、多くの陸上植物はアーバスキュラー菌根菌（真核生物）と共生し、リンをはじめとするミネラルを効率よく吸収する。近年これら2つの共生には、複数の共通する宿主遺伝子が関わっていることが明らかになってきており、また根粒形成の制御においてはメリステム形成の制御遺伝子が複数流用されてきたこともわかってきた。当研究室では、マメ科のモデル植物であるミヤコグサを用いて、新たな実験系の開発とともに、植物・微生物共生の分子メカニズムと進化プロセスの解明に取り組んでいる。また、共生やパターン形成のシミュレーションによる数理モデル解析を行い、生命現象の別角度からの理解を目指している。

教授 川口 正代司 (TEL: 0564-55-7564) masayosi@nibb.ac.jp

准教授 征矢野 敬 (TEL: 0564-55-7563) soyano@nibb.ac.jp

<http://www.nibb.ac.jp/miyakohp/index.html>

○進化発生研究部門

圧倒的な種数の豊富さを誇る昆虫は、多様性の宝庫であり、多様性創出の進化メカニズムを解き明かすための研究材料として未知で無限の可能性を秘めている。本研究部門では、昆虫が進化の過程で獲得した新奇形質に着目し、昆虫の多様な形質をもたらす分子基盤および進化メカニズムを解明することを目指している。現在、「昆虫翅の起源と多様化」、「テントウムシの斑紋と擬態」、「カブトムシの角の獲得と多様化」などの研究テーマについて取り組んでいる。非モデル昆虫が持つ興味深い現象の解明には、斬新なアプローチと新規実験技術の導入が必須であり、遺伝子機能解析法などの開発も行っている。

教授 新美 輝幸 (TEL: 0564-55-7606) niimi@nibb.ac.jp

<http://www.nibb.ac.jp/niimilab/>

○バイオリソース研究室

(モデル生物研究センター モデル動物研究支援室 メダカバイオリソースユニット)

条鰭類は脊椎動物の約半数を占める大きなグループである。また条鰭類は哺乳類を含む肉鰭類と姉妹関係を形成することから、我々「ヒト」を含む哺乳類の進化を考察する上でも重要な位置を占めている。我々の研究室では、メダカとその近縁種を用いた性決定システムの進化に関する研究、体色突然変異体の原因遺伝子の同定とその機能解析、脳内の神経活動を可視化するための cre driver 系統の作成などを行っている。Fosmid ライブラリーの作成、遺伝子導入系統の作成、変異体のマッピング、TILLING 法による突然変異体の同定などの共同研究に対応することができる。さらに近年開発された CRISPR-Cas9 によるゲノム編集に必要な gRNA 用プラスミドの調整や卵への DNA/RNA マイクロインジェクションを行うことができる。また 2017 年から始まった第 4 期メダカバイオリソースプロジェクトを担う中心研究室として、メダカバイオリソースの収集・保存・配布をおこなうことでメダカ及びメダカ近縁種をもちいた新たな生物学研究の推進を担っている。

特任教授 成瀬 清 (TEL: 0564-55-7580) naruse@nibb.ac.jp

<http://www.nibb.ac.jp/bioresources/>

○構造多様性研究室

鱗翅目昆虫の成虫翅は二次元の上皮組織であり、翅輪郭形状の決定・気管、気管小枝および翅脈のパターン形成・これらと関連した斑紋パターン形成などの興味深い過程を示す。これらの過程を形態学的な手法を用いて細胞レベルで詳細に記述するとともに、内在するメカニズムを明らかにしようとしている。

准教授 児玉 隆治 (TEL: 0564-55-7578) kodama@nibb.ac.jp

http://www.nibb.ac.jp/sections/evolutionary_biology_and_biodiversity/kodama/

○多様性生物学研究室

多様な生物を用いて、各グループが独自の研究を行っている。

大野グループ：

ナマコ、ヒトデ、ウニ、ウミシダ等における神経ペプチドの生理作用を、生殖腺および生殖細胞の成熟制御を中心に研究している。

助教 大野 薫 (TEL: 0564-55-7555) k_ohno@nibb.ac.jp

http://www.nibb.ac.jp/sections/evolutionary_biology_and_biodiversity/diversity/AssisProf/ohno.html

鎌田グループ：

出芽酵母を用いて、栄養環境センサー分子 TOR の研究を、遺伝学・生化学・細胞生物学などさまざまな手法を駆使して行っている。

助教 鎌田 芳彰 (TEL: 0564-55-7536) yoshikam@nibb.ac.jp

http://www.nibb.ac.jp/sections/evolutionary_biology_and_biodiversity/diversity/AssisProf/kamada.html

定塚グループ：

酵母をモデルとして、細胞分裂期に形成されるコンパクトに凝縮した染色体の構築機構と、その構造が生物機能に果たす役割について研究している。

助教 定塚 勝樹 (TEL: 0564-55-7692) kjozuka@nibb.ac.jp

http://www.nibb.ac.jp/sections/evolutionary_biology_and_biodiversity/diversity/AssisProf/johzuka.html

星野グループ：（モデル生物研究センター モデル植物研究支援室・アサガオバイオリソースユニット）

アサガオの多様な変異体を使い、遺伝子の発現制御機構と花色の発現機構を研究している。アサガオのゲノム情報など、研究基盤の整備も行っている。

助教 星野 敦 (TEL: 0564-55-7534) hoshino@nibb.ac.jp

<http://www.nibb.ac.jp/hoshino/>

梅根グループ：（モデル生物研究センター モデル植物研究支援室）

イネの内在性トランスポゾンの転移によるゲノムの多様化や遺伝子機能の変化について研究している。

助教 梅根 一夫 (TEL: 0564-55-7521) tsugane@nibb.ac.jp

<http://www.nibb.ac.jp/dart/nibb/Welcome.html>

加藤グループ：（生命創成探究センター）

光学顕微鏡や電子顕微鏡等で撮影された生物画像を対象として、新規の画像処理・解析手法の開発やアプリケーションソフトウェアの開発等を行っている。

特任助教 加藤 輝 (TEL: 0564-55-7513) kkat@nibb.ac.jp

○環境光生物学研究部門

植物は、環境の変化に自らを順化適応させることで生き残りをはかる。太陽光を集め利用可能なエネルギーへの変換を行う光合成においても、さまざまな階層における光環境適応がみられる。本研究部門では、単細胞緑藻を中心としたモデル微細藻類について、分子遺伝学、生化学、分光学的手法さらにはライブイメージングの手法を駆使することで、特に光を集めるアンテナ装置がいかに光を集めているのか、その分子基盤やシグナル伝達の解析を行っている。また、得られた基礎的知見をサンゴと共生する褐虫藻にも応用し、環境において重要なこれらの光合成生物の生理生態の理解を目指している。

教授 皆川 純 (TEL: 0564-55-7515) minagawa@nibb.ac.jp

准教授 高橋 俊一 (TEL: 0564-55-7517) shun@nibb.ac.jp

<http://www.nibb.ac.jp/photo/>

○植物環境応答研究部門

陸上植物にとって、重力に対して成長方向を制御したり体の支持構造を発達せたりする重力応答は、基本的で重要な環境応答である。重力屈性は、植物が重力方向を認識し、根を水分や栄養分が豊富な地中へ、地上部を光合成や生殖に有利な上方へと各器官を配置する役割を担う。茎や根が鉛直線に沿う正常重力屈性と共に、重力方向を指標にして器官の成長方向を斜めに保つ傾斜屈性は、根の張り方や枝振りなど植物全体の構造を調節する。本研究室では、植物が重力方向を認識する機構、重力情報に基づいて成長を制御する機構、器官によって角度を調節する機構、重力以外の光や湿度などの複数環境情報を屈性に反映させる情報統御機構について、シロイヌナズナをモデル系として、分子から個体までをつなげて理解することを目指している。

教授 森田 美代 (TEL: 0564-55-7556) mimorita@nibb.ac.jp

○時空間制御研究室

本研究室では発生における左右非対称性決定の機構を、マウス胚のライブイメージングによって解析している。またライブイメージングに適した顕微鏡自体の開発も手がけている。現在、褪色や光毒性が少なく高速な立体画像取得を特徴とする光シート顕微鏡を、操作性に優れた市販品と高速性能に優れた自作品の2台運用しており、統合イメージング共同利用研究などの枠組みで発生生物学、細胞生物学、神経科学等での共同利用を実施している。

准教授 野中 茂紀 (TEL: 0564-55-7590) snonaka@nibb.ac.jp

<http://www.nibb.ac.jp/~bioimg2/>

○モデル生物研究センター

モデル生物研究センターは、生物学研究の基盤となるモデル動植物等について、飼育栽培のための設備を提供するとともに、形質転換体の開発や保存、さらには解析研究の支援を行う施設である。本センターは、モデル動物研究支援室（哺乳動物飼育開発支援ユニット、モデル動物解析支援ユニット、小型魚類飼育開発支援ユニット、メダカバイオリソースユニット）、器官培養研究支援室、モデル植物研究支援室（アサガオバイオリソースユニット）から成り立っている。マウス施設では、ノックアウトマウス・トランスジェニックマウス作製などにより遺伝子操作マウスの開発・飼育維持・解析を行い、受精卵凍結法により系統保存を行っている。平成 19 年度からメダカバイオリソースの中核拠点となり、従来の変異体や遺伝子導入小型魚類飼育管理に加え、全国の汎用系統なども管理維持し、配布と有用系統の開発も行っている。鳥類施設では遺伝子導入により、遺伝子機能解析研究が可能となっている。器官培養施設では、細胞と器官レベルの実験を支援している。植物施設ではモデル植物の育成と形質転換体の開発支援を行っており、解析用の各種人工気象室を備えている。アサガオ施設は、ナショナルバイオリソースプロジェクトの分担機関として、アサガオの各種リソースの収集・保存・提供を行っている。

1. モデル動物研究支援室

1) 哺乳動物飼育開発支援ユニット

SPF マウスの飼育及び開発の支援を行っている。モデル生物研究センターの施設内には最大 2 万匹の SPF マウス飼育できる設備を備えており、マウス飼育支援のための凍結受精卵の作成、保管、解凍、移植の支援も行っている。さらにはトランスジェニックマウスやノックアウトマウス作成を支援するための偽妊娠マウスや里親の供給も行っている。所内の部門や研究室を通じた共同研究を支援している。

2) モデル動物解析支援ユニット

SPF マウス及び SPF ラットを利用した解析研究を支援している。モデル生物研究センターの施設内には、主として行動解析を行うための実験室を三つ備えている。一つは山手地区 SPF 施設内にある行動解析専用施設で、残り二つは明大寺地区にあり P2 及び P3 レベルの組換え DNA 実験室も可能な行動解析実験室となっている。所内の部門や研究室を通じた共同研究を支援している。

3) 小型魚類飼育開発支援ユニット

近年新たに実験動物として確立されてきたメダカ、ゼブラフィッシュを用いた実験、さらにニワトリを主として用いた鳥類の実験を支援する。自動循環水槽や大型の孵卵室を備え、卵へのマイクロインジェクションもユニット内で可能となっている。

新たな遺伝子改変システムの作出を行っており、それら遺伝子導入小型魚類が飼育維持できる環境（P1A）を整えている。ニワトリの遺伝子組み換え実験（P2A）にも対応可能となっている。

4) メダカバイオリソースユニット

メダカバイオリソースユニット (<http://www.shigen.nig.ac.jp/medaka/>) ではメダカに関する生物遺伝資源の収集・保存をおこない、それらを統合的に提供することでメダカを用いた生物学・基礎医学分野を飛躍的に発展させることを目的として活動している。現在は600以上のメダカ系統、40万あまりのcDNAクローン、28万あまりのBAC/Fosmidクローン、孵化酵素の提供とともに、2010年からはTILLINGによる変異体スクリーニングシステムの提供も行っている。2014年度からはCRISPR-CAS9によるゲノム編集のサポートも行っている。メダカバイオリソースユニットへの共同利用申し込みはバイオリソース研究室への共同利用申し込みとして対応する。

2. 器官培養研究支援室

培養細胞及び培養器官を利用した研究を支援する。モデル生物研究センターの施設内には、一般細胞培養室を初め、ES細胞専用培養室、P2実験専用培養室、器官培養室、酵母培養室などを備えている。また山手地区と明大寺地区それぞれに凍結細胞を保存するための大型液体窒素タンクを備えている。所内外の共同研究の支援を行っている。

3. モデル植物研究支援室

シロイヌナズナ、ミヤコグサ、アサガオ、ヒメツリガネゴケ、クラミドモナスなどのモデル植物を、光・温度・湿度等を厳密に制御した環境条件のもとに培養育成するためのインキュベーターや恒温室が整えられている。また、強光及び極低・高温の極限環境下で培養育成する施設も設置されている。これらのほとんどはP1Pレベルに指定されており遺伝子組換え実験も可能である。屋外には大小2つの温室、3棟（4室）のファイトトロン、2棟（5室）のP1Pレベル形質転換植物用温室、圃場及び管理室が設置されている。

1) アサガオバイオリソースユニット

アサガオバイオリソースユニットでは、ナショナルバイオリソースプロジェクト・アサガオ（代表機関：九州大学）の分担機関として、アサガオの各種リソースの収集・保存・提供を行っている。おもに取り扱うリソースは、変異系統ならびにcDNAとBACクローンである。国内外におけるアサガオと近縁種の研究を支援している。

○生物機能解析センター

共同利用研究体制の強化を目的とした研究施設の改組により、平成 22 年度に生物機能解析センターが設立された。生物機能解析センターは、生物機能情報分析室、光学解析室、情報管理解析室より成り、それぞれの室に所蔵される分析・光学機器を用いた実験・研究をサポートできる体制を整えている。このような機器を利用した研究とともに、それぞれの室に所属する教員は独自の研究を展開している。

生物機能情報分析室は、遺伝子・タンパク質解析の共同研究拠点として、基礎生物学研究所の分析機器の管理・運用を行っている。超遠心機のような汎用機器から次世代シーケンサーのような先端機器に至るまで、50 種類 90 台にのぼる機器を所蔵し、その多くは所外の研究者にも開放している。（生物機能情報分析室ホームページ <http://www.nibb.ac.jp/analyins/jp/> 参照）特に、機能ゲノミクスに力を入れており、次世代 DNA シーケンサーと質量分析機を利用した共同利用研究を行っている。

光学解析室は大型分光照射施設である大型スペクトログラフと、光シート顕微鏡、2 光子顕微鏡、共焦点レーザー顕微鏡、さらに赤外レーザーで局所的遺伝子発現を実現する IR-LEGO 顕微鏡を所蔵している（各装置の詳細は光学解析室ホームページ <http://www.nibb.ac.jp/l spectro/> 参照）。これらの機器を用いた共同利用研究を行っている。また、植物の電子顕微鏡撮像の支援も行っている。

情報管理解析室は、共有メモリサーバ、分散処理用計算機クラスター、大容量ディスクアレイ装置などから構成される生物情報解析システムを運用しており、これらを用いたゲノム規模での配列データ解析や画像処理、各種データベースの構築と運用のサポートなどを行っている。（詳細は <http://www.nibb.ac.jp/cp room/> 参照）これらの設備を活用した、大規模データ解析やデータベース構築などを含む研究課題を共同利用研究として公募している。

1. 生物機能情報分析室

最先端のゲノム科学を駆使して、「共生・発生・進化」をキーワードに研究を行っている。特に、昆虫アブラムシとその共生細菌ブフネラの共生系をモデルに、共生によるイノベーションを支える分子・遺伝子基盤とその進化過程の解明を目指している。実験生物学と情報生物学の融合的アプローチが特徴である。

特任准教授 重信 秀治（TEL: 0564-55-7670）shige@nibb.ac.jp

<http://www.nibb.ac.jp/analyins/jp/>

2. 光学解析室

「光」を使った非侵襲的な遺伝子発現誘導顕微鏡と、遺伝子の変異体ライブラリーから作製した変異体を組み合わせて、「個体レベル」での遺伝子機能解析を行っている。研究対象としては光学的アプローチに適し、ゲノムなどの情報が完備されたモデル生

物である「メダカ」を使っている。遺伝子発現誘導顕微鏡とは、生体内の単一細胞に赤外線を照射することで熱ショック応答により目的の遺伝子発現を誘導するIR-LEGO法(Kamei et al. Nat. Methods, 2009)である。一方で、上記顕微鏡技術を駆使し、メダカ変異体や、トランスジェニック技術を使って生体内における様々な遺伝子の機能解析を目指している。

特任准教授 亀井 保博 (TEL: 0564-55-7535) ykamei@nibb.ac.jp
<http://www.nibb.ac.jp/l spectro/>

3. 情報管理解析室 (ゲノム情報研究室)

情報科学的アプローチで大量のゲノム情報から生命現象の理解を目指す研究を行っている。特に、近年急速にデータが蓄積し、自然界における多様性の実態が明らかになりつつある微生物のゲノムを対象として、網羅的な比較解析によるゲノム情報の体系化と、それに基づくゲノムの機能や進化の解明を目指した研究を行っている。このため、多数のゲノムを同時に比較するための高速オーソログ分類手法の開発や、それに基づく網羅的な比較ゲノムデータベースの構築を行ってきた。こうした情報基盤に基づいて、水平移動を含む複雑な微生物ゲノムの進化プロセスの解明に向けた取り組みを進めている。

助教 内山 郁夫 (TEL: 0564-55-7629) uchiyama@nibb.ac.jp
http://www.nibb.ac.jp/sections/theoretical_biology/uchiyama/

○ I B B P センター

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、広い地域において研究・開発活動にも大きな影響を与えた。地震による直接被害とともに、長期にわたるライフラインの停止によって実験動物の飼育も困難となり、ディープフリーザー等に保管していた生物遺伝資源は長期停電によって大きなダメージを受けた。日本は東日本大震災後も震度 6 強を越える地震が熊本県熊本地方及び阿蘇地方や鳥取県中部地方など年 1 回以上の頻度で発生する地震多発国であり、研究・開発活動を震災から守るための対策は不可欠である。

災害や不慮の事故による生物遺伝資源の毀損や消失を回避するためには、個々の研究によって創出された生物遺伝資源のバックアップを作成し、オリジナルとは地域的に離れた場所に保管することが有効である。このため個々の研究者が作成した生物遺伝資源のバックアップ保管を目的とした大学連携バイオバックアッププロジェクト (IBBP) を平成 24 年度から新たに開始した (<http://www.nibb.ac.jp/ibbp/>)。

IBBP では自然科学研究機構基礎生物学研究所に気相及び液相式液体窒素タンク、液体窒素自動供給システム、ドライキャビネットを備えた種子保存室、超低温フリーザー、検体管理データベースシステム、機器監視システム、液体窒素製造装置など生

物遺伝資源のバックアップ保管に必要な最新の設備を備えた IBBP センターを設置した。

IBBP センターは、生物遺伝資源の保管・管理を担当する。また北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学には大学サテライト拠点を設置し全国の大学・研究所からのバックアップ依頼を受け付け、IBBP センターと協力してプロジェクトを推進する。IBBP センターでは上記の保管施設に加え、プログラムフリーザー、示差走査熱量計、真空冷却加熱ステージ付き蛍光顕微鏡、精子運動自動解析装置等の超低温保存技術の開発を推進するための機器を備えている。

さらに、生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究の実施や Cryopreservation Conference の開催によって、生物遺伝資源開発者と低温生物学・化学・物理学研究者等の出会いを提供し、より多様な生物遺伝資源の長期保存技術の開発を推進している。また開発された技術を研究コミュニティに広げる技術講習会も開催している。

○新規モデル生物開発センター

基礎生物学研究所のプロジェクトの一つである「新しい時代の生命科学研究に資する新規モデル生物開発」を行うため、様々な生物に応用可能なゲノム編集技術の開発とそのプラットフォーム整備を行っている。また、新規モデル生物のための研究パイプライン化の一例として、イペリアトゲイモリにおけるオミックスデータの集積や遺伝子ターゲットングを行い、有尾両生類が持つ高い器官再生能力や変態現象の解明を目指した研究も精力的に行っている。

特任准教授 鈴木 賢一 (TEL: 0564-55-7542) suzuk107@nibb.ac.jp

<http://www.nibb.ac.jp/newmodel/>

○生命創成探究センター・核内ゲノム動態研究グループ

ヒトを含む様々な生物種のゲノム DNA の塩基配列の全容が明らかとなり、細胞特異的なエピゲノム情報も蓄積されつつある。最近では、核内におけるクロマチンのローカルな 3 次元構造が転写を含むゲノムの機能に重要な役割を担うことが明らかになってきた。この膨大なゲノム情報はクロマチン繊維として数 μm の核に絡み合うことなく収納されており、その立体配置をもったゲノム核内構造は高度に組織化されている。当研究室では、クロマチンの動きをイメージングする新しい技術を用いることで、これまでとは全く異なるユニークなアプローチで、核内ゲノムのトポロジー変化が細胞の運命決定へ与える影響を理解し、ゲノム高次構造の制御メカニズムの解明に迫る。

特任准教授 宮成 悠介 (TEL: 0564-59-5850) miyanari@nibb.ac.jp

<http://www.nibb.ac.jp/miyalab/>

○生命創成探究センター・植物発生生理研究グループ

発生現象を適切に進めるためには、細胞（群）の運命・役割を決める化合物を生成したり、進行そのものの維持に関わる代謝システムを働かせたりする必要がある。ところが、発生過程に連動した代謝システムの制御は思いのほか理解されていない。そこで本研究室では、代謝システムの視点から、発生現象のより良い理解を目指している。具体的には、特定の発生現象と連関している未知なる代謝システムを同定するために、モデル植物であるシロイヌナズナを用いた遺伝学的スクリーニングを行い、そのうえで詳細な個別の解析を進めている。また、従来の生化学や分子生物学的な手法に加えて、代謝物を網羅的に解析するメタボロミクスを活用し、代謝システムを発生現象と連動させる仕組みや、その生体内における機能的な役割についても解明を目指している。

特任准教授 川出 健介 (TEL: 0564-59-5883) kawa-ken@nibb.ac.jp

<http://www.oib.orion.ac.jp/metabolo/>

1. 新規ユーザー登録（初めて利用する場合）

<https://www.nins.jp/site/nous/>



システムからのお知らせ

2018年10月22日更新 [自然科学共同利用・共同研究統括システム \(NOUS\) のホームページをリニューアルしました。](#)

自然科学共同利用・共同研究統括システム(NOUS)とは？

各研究所HPの共同利用概要等からのリンクの場合このページをスキップすることもあります。

①ログイン画面上部のNew User
をクリック

《注意》ユーザー登録については、個人情報の
取扱いに関する同意を得る手続きが追加になる
ため、この入力例も後日修正する予定です。

The screenshot shows the NOUS Login page in Internet Explorer. The browser's address bar displays <https://nous-dev0.nins.jp/user>. The top navigation bar is green and contains the following links: NOUS, Help, New User (highlighted with a red box), Reset Password, and Contact Us. A red arrow points to the 'New User' link. The main content area is titled 'Login with your credentials' and contains two input fields: 'Login ID:' and 'Password:'. A green 'Login' button is located to the right of the password field. Below this, the 'Shibboleth authentication' section contains the following text: 'For your single sign-on to NOUS, your institutional identification provider (IdP) must allow the 'eduPersonTargetedId' attribute to be referred by the NOUS service provider (SP). You should also agree to do so in the confirmation dialog.' A large green button labeled 'Login via Shibboleth' is at the bottom of this section.

②記入事項を入力し、下段の「Go」をクリックし、内容を確認の上で、「Register」をクリック

New User Registration

This site will send you some related notifications via "no-reply@nous-dev3.nins.jp." Please setup your mail system to accept this address or "@nous-dev3.nins.jp" domain beforehand.

Please input your profile

氏名 (Name in Japanese)	基生研 花子	(Full name if non Japanese)
姓 (Family Name in English)	KISEIKEN	
名 (First Name in English)	Hanako	
メールアドレス (Email address)	*****@***.ac.jp	
メールアドレス2 (Email address2)		
所属機関 (Institute)	〇〇〇〇大学	
部局 (Department)	△△△学部	
職 (Job Title)	教授	
電話番号 (Phone no.)	XXXX-XX-XXXX	
FAX番号 (FAX no.)	XXXX-XX-XXXX	
生年 (year of birth)	1975	
★1 科研費番号 (MEXT/JSPS KAKENHI Grant Number)	12345678	
★2 ORCID (Open Researcher and Contributor ID)	0000-1111-2222-3333	
★3 照会先機関 (Contact Institution)	基礎生物学研究所 (National Institute for Basic Biology)	

提出される申請書を取り扱っている機関を入力してください。

Back Clear **Go**

★1: 科研費用「研究者番号」を記載下さい。
(番号をお持ちでない方は共同利用
係までお問い合わせ下さい。)

★2: ORCID IDをお持ちの方は記載下さい。
(科研費研究者番号をお持ちでない方
は必須となります。)

参考URL <https://orcid.org/>

★3: 基礎生物学研究所 を選択して下さい。



職 (Job Title)	教授
電話番号 (Phone no.)	XXXX-XX-XXXX
FAX番号 (FAX no.)	XXXX-XX-XXXX
生年 (year of birth)	1975
科研費番号 (MEXT/JSPS KAKENHI Grant Number)	12345678
ORCID (Open Researcher and Contributor ID)	0000-1111-2222-3333
照会先機関 (Contact Institution)	基礎生物学研究所 (National Institute for Basic Biology)

提出される申請書を取り扱っている機関を入力してください。

Back Cancel **Register**

③登録したメールアドレスに申請を
受理した旨のメールが届きます。
メールをご確認下さい。

基生研 太郎 様

自然科学共同利用・共同研究統括システム(NOUS)のユーザ登録を申請していただき
ありがとうございます。以下の内容で承りました。

氏名 (Name in Japanese) 基生研 花子
姓 (Family Name in English) KISEIKEN
名 (First Name in English) Hanako
メールアドレス (Email address) ****@***.ac.jp
メールアドレス2 (Email address2)
所属機関 (Institute) ○○○○大学
部局 (Department) △△△△学部
職 (Job Title) 教授
電話番号 (Phone no.) XXXX-XX-XXXX
FAX番号 (FAX no.)
生年 (birth of year) 1975
照会先機関 (Contact Institution) 基礎生物学研究所 (National Institute for Basic Biology)

事務担当による確認と新規アカウント
作成を行いますので、通常2日程度(休
日を挟む場合はそれ以上)お待ち頂き
くことになりますので、登録は早めにお
願いたします。特に、申請締め切り間
際は手続きが混み合い、お待ち頂く日
数がかかることも予想されます。

担当者が確認後、再度、ご連絡いたします。
(休日をはさむ場合等、時間のかかる場合がございます。)

しばらく経って、連絡がない場合は、NOUS支援課(r7133@orion.ac.jp)まで
お問い合わせください。

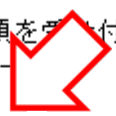
NOUS : <https://nous.nins.jp/>

④数日後に、事務担当者によるユーザー登録の承認が済むとパスワード設定の案内がメールが届きますので、表示されたURLより設定画面を表示してください。

いつも自然科学共同利用・共同研究統括システム(NOUS)をご利用いただきありがとうございます。

以下のアカウントより、パスワード(再)設定の依頼を受け付けました。

username: ****@***.ac.jp

  ご登録のメールアドレスがusernameとなります。

この依頼が正しければ、以下の URL よりパスワードを(再)設定してください。もし依頼に覚えがない場合は、そのまま無視していただいて結構です。(メールを速やかに削除してください)

<https://nous-dev3.nins.jp/user/resetpassword/kVkJ3eEcf1IvnstE0aIFc32065>

本件に関して何かご質問、問題等がございましたら、
nous-sup@nins.jp までご連絡ください。

Dear NOUS user:

A request has been received to (re)set the password for above-mentioned user account. If this request was properly made by you, please reset the password through the above URL.

If not, you have nothing to do and just ignore this e-mail.

(Rapidly deleting this e-mail would be recommended.)

⑤パスワードを設定してください。

この表示でパスワード変更が完了です。
続けて「My Page」から共同利用申請の入力が可能です(申請(基本)以下をご参照下さい)。終了される場合は、ログアウトして下さい。

Change Password - Internet Explorer

https://nous-dev3.nins.jp/user/resetpassword/1.Vk.9eEc

Change Password

NOUS My Page

Change Password

New password for ****@***.ac.jp.

New password

New password again

Back Change

Passwords should have more than 9 characters and contain at least one upper and lower cases, one numeric, and one symbolic letters. (パスワードは、英小文字、英大文字、数字、記号を1文字以上含んだ10文字以上の文字列にしてください。)

Change Password - Internet Explorer

https://nous-dev3.nins.jp/user/resetpassword/1.Vk.9eEc

Change Password

NOUS My Page Login User: Logout

Change Password

New password for ****@***.ac.jp.

Password successfully changed.

New password

New password again

Back Change

Passwords should have more than 9 characters and contain at least one upper and lower cases, one numeric, and one symbolic letters. (パスワードは、英小文字、英大文字、数字、記号を1文字以上含んだ10文字以上の文字列にしてください。)

大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル2階
© National Institutes of Natural Sciences
Update: 2.1 2018-08-30 11:14:00

ここからは、共同利用申請手続きの再開の場合などでログインする方法です。
なお、各申請入力の際には、「一時保存」せずに入力が1時間以上無い場合には自動的にログアウトします。時々「一時保存」を実施して下さい。

①ログイン画面でID(メールアドレス)とパスワードを入力する。

The screenshot shows the NOUS login interface. At the top is a green navigation bar with links: NOUS, Help, New User, Reset Password, and Contact Us. The main content area has a light gray background. The first section is titled 'Login with your credentials' and contains two input fields. The 'Login ID:' field is highlighted with a red rectangle and contains the text '****@***.ac.jp'. The 'Password:' field is also highlighted with a red rectangle and contains ten black dots. To the right of these fields, two blue arrows point left towards the text 'ご登録のメールアドレス' (Registered email address) and '変更後のパスワード' (Password after change). Below the password field is a green 'Login' button, which is also highlighted with a red rectangle. A large red arrow points from the right towards the 'Login' button. The second section is titled 'Shibboleth authentication' and contains a paragraph of text: 'For your single sign-on to NOUS, your institutional identification provider (IdP) must allow the 'eduPersonTargetedId' attribute to be referred by the NOUS service provider (SP). You should also agree to do so in the confirmation dialog.' Below this text is a green button labeled 'Login via Shibboleth'.

NOUS Help New User Reset Password Contact Us

Login with your credentials

Login ID: ****@***.ac.jp

Password: ●●●●●●●●●●

ご登録のメールアドレス
変更後のパスワード

Login

Shibboleth authentication

For your single sign-on to NOUS, your institutional identification provider (IdP) must allow the 'eduPersonTargetedId' attribute to be referred by the NOUS service provider (SP).
You should also agree to do so in the confirmation dialog.

Login via Shibboleth

② 緑色バーをクリックすると
登録したメールアドレスに
認証キーが届きます

Please enter authentication key

This site will send you some related notifications via "no-reply@nous-dev3.nins.jp." Please setup your mail system to accept this address or "@nous-dev3.nins.jp" domain beforehand.

Push this button to obtain your keycode.

Please enter the obtained authentication key:

OK

Cancel

認証キーを送信しました。

Please enter authentication key

This site will send you some related notifications via "no-reply@nous-dev3.nins.jp." Please setup your mail system to accept this address or "@nous-dev3.nins.jp" domain beforehand.

Push this button to obtain your

Please enter the obtained authentication key:

いつも自然科学共同利用・共同研究統括システム(NOUS)をご利用
いただきありがとうございます。

このメールではログイン時に必要な認証キーを送付しています。
メールに心当たりがない場合、速やかに削除していただきますよう、お願い申し上げます。

尚、認証キーの有効期間は 10 分です。

認証キー: kM2mafN2ie

認証キーをコピーして下さい。

本件に関して何かご質問、問題等ございましたら、
nous-sup@nins.jp までご連絡ください。

Dear NOUS user:

This mail includes an authentication key required for opening your session of NOUS, that has been requested by your action.
If you are not aware of your action or you have any doubt on the e-mail, please delete it promptly.
The validity period of the authentication key is 10 minutes.

Authentication Key: kM2mafN2ie

Any questions and comments may be sent to "nous-sup@nins.jp".

NOUS : <https://nous-dev3.nins.jp/>

システムの安全のために
二重認証システムとなっ
ています。お手数をおか
けしますがご理解下さい。

③認証キーを入力し、OKボタンをクリックするとMy Pageが表示されます

(共同利用申請方法については、申請(基本)以下をご参照下さい)

認証キーを送信しました。

Please enter authentication key

This site will send you some related notifications via "no-reply@nous-dev3.nins.jp." Please setup your mail system to accept this address or "@nous-dev3.nins.jp" domain beforehand.

Push this button to obtain your keycode.

Please enter the obtained authentication key:

yhihvPbOXy|

×

OK

Cancel

[Change Password](#) [My Profile](#) [Contact Us](#) [Single Sign-on Setting](#)

Login User: 基生研 花

My Page

新規申請/New applications:

ST(atus): ed(itable) su(bmitted) re(vise)

年度	分類	代表者	タイトル	役割	最終更新日
Start : new application					

採択済課題/Approved applications:

年度	分類	代表者	タイトル	役割	追加/出張申請	報告書 継続申請
----	----	-----	------	----	---------	-------------

昨年度採択済課題/Completed applications last year:

年度	分類	代表者	タイトル	役割	報告書	継続申請
----	----	-----	------	----	-----	------

過去の申請/Expired applications: [🔗](#) (クリック/Click to expand)

2. 申請（基本）

①My Page の"new application"をクリックしてください

My Page

新規申請／New applications:

ST(atus): ed(itable) su(bmitted) re(vise)

年度	分類	代表者	タイトル	役割	最終更新日
Start :	new application				

採択済課題／Approved applications:

年度	分類	代表者	タイトル	役割	追加／出張申請	報告書	継続申請
----	----	-----	------	----	---------	-----	------

昨年度採択済課題／Completed applications last year:

年度	分類	代表者	タイトル	役割	報告書	継続申請
----	----	-----	------	----	-----	------

過去の申請／Expired applications: [🔍](#) (クリック／Click to expand)

②基礎生物学研究所を選択した後、申請様式(カテゴリー)を選択してください

分類

new application

Approved applications

分類

【Select the institute and then application category.】

1. Select the institute.

NIFS:核融合科学研究所

2. Then, select the application category.

NIFS-I-1	核融合科学研究所双方向型共同研究課題筑波大学プラズマ研究センター	2017
NIFS-I-2	核融合科学研究所双方向型共同研究課題京都大学エネルギー工学研究所附属エネルギー複合機構研究センター	2017
NIFS-I-3	核融合科学研究所双方向型共同研究課題大阪大学レーザーエネルギー学研究センター	2017
NIFS-III-1-1-2	核融合科学研究所一般共同研究大型ヘリカル装置(LHD)計画プロジェクト LHD実験共同研究プラズマ物理学	2018
NIFS-III-4	核融合科学研究所一般共同研究LHD 数値解析サーバ利用共同研究	2018

参加/出張申請

報告書

【Select the institute and then application category.】

1. Select the institute.

NIBB:基礎生物学研究所

2. Then, select the application category.

NIBB-priority	基礎生物学研究所重点共同利用研究
NIBB-model	基礎生物学研究所モデル生物・技術開発共同利用研究
NIBB-individual	基礎生物学研究所個別共同利用研究
NIBB-genomics	基礎生物学研究所統合ゲノミクス共同利用研究
NIBB-imaging	基礎生物学研究所統合イメージング共同利用研究
NIBB-seminar	基礎生物学研究所研究会
NIBB-spectrograph	基礎生物学研究所大型スペクトログラフ共同利用実験
NIBB-training	基礎生物学研究所トレーニングコース実施
NIBB-bio-backup	基礎生物学研究所生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究

※申請様式(カテゴリー)は9項目あります。
表示されていない項目はスクロールバー
でスクロールして選択してください

Cancel

③申請様式を入力してください

※申請様式はそれぞれ内容が異なり、申請基本情報、組織、研究内容、研究業績等のタブで構成されています。

JOUS

Help

My Page

PDF(Download)

一時保存(Save)

Login User: 基生研 花子

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、
<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details) - 1

4. 研究内容(details) - 2

5. 研究業績

6. 図表・別紙

自然科学研究機構
基礎生物学研究所長 殿

整理 No. (研究所側入力欄)

申込者 (提案代表者)

研究課題名

新規・継続

研究期間

所内対応者

所属長による承認

基生研 花子

基礎生物学研究所

情報管理解析室

助教

test_重点共同利用研究

☒ 新規申請 ☐ 継続申請

継続 --未選択--

年度から

研究開始日 2019-04-01

研究終了日 2020-03-31

所属長の職名 ○○大学大学院○○研究科長

所属長の氏名 △△ △△

承認を得た日付 2018-12-03

※所属長とは、申込者が本研究課題を申込むことについて、
※所属長の承認を得るにあたっては、一時保存した本申込書

入力中に時々「一時保存」をクリックして下さい。
1時間以上無操作の場合は保存されずに自動的にログアウトします。

タブ

共同利用研究を申込むにあたり、承認を得た所属長の職名及び氏名を入力して下さい。
承認を得た日付はカレンダーから選択して下さい。

③詳細1－1 NOUSにおいて、提案代表者、所内対応者、分担者等の研究者の入力はデータベースからの検索又は新規登録により行います。検索の場合は、上段に入力した内容に該当する研究者が3人以内になると下段に表示されます。(新規登録の場合は次ページ)提案代表者は分担者も含めた個人情報の取扱いについて、十分に内容をご確認の上、ご同意ください。

2019年度 重点共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込み
http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/

2. 組織(m)

研究者確認 (identify researcher)

研究者を識別する文字等を入力してください。/ Please enter some string or number to identify a researcher.

基生研

研究者を選択してください。/ Please ascertain the researcher with the affiliation.

clear	氏名 Name in Japanese	姓 Family Name	名 First Name	所属機関 Institute	部局 Department	職 Job Title
選択 select	基生研 花子	Kiseiken	Hanako	〇〇大学	△△学部	教授

所属を助加する
add affiliation

新しい研究者を登録する
register new person

キャンセル
cancel

所属長の氏名 △△ △△

承認を得た日付 2018-12-03

③詳細2-1 (重点共同利用研究, モデル生物・技術開発共同利用研究, 研究会, トレーニングコース, 生物遺伝資源共同利用研究)

組織タブについては、"add row"で分担者を追加してください。

2019年度 重点共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details) - 1

4. 研究内容(details) - 2

5. 研究業績

6. 図表・別紙

分担者の所属・職・氏名

(研究補助者として学部学生を登録することも可能です)

	氏名	所属大学・研究機関	所属学部・研究科等	職名
提案代表者 remove	基生研 花子	〇〇大学	△△学部	教授
所内対応者 remove				
分担者 remove				
分担者 remove				

add row (分担者)

mail to member(s) ※一時保存してからご利用ください。

合計 (Total) 4

名 (Members)

組織表ダウンロード

③詳細2-2 個別共同利用研究, 統合ゲノミクス共同利用研究, 統合イメージング共同利用研究, 大型スペクトログラフ共同利用実験

※大型スペクトログラフ共同利用実験については特記事項欄はありません

組織タブについては、"add row"で分担者を追加し、来所日程をご記入ください。来所が複数回になる場合には、日程(宿泊数、滞在日数)ごとにまとめて記載してください。異なる日程を記載する場合には、"+"で行を追加、"- "で行を削除できます。また、申込時点で氏名未定の分担者の参加を予定している場合は特記事項の欄に例のように記入してください。

2019年度個別共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details)

4. 研究業績

5. 図表・別紙

分担者の所属・職・氏名

(研究補助者として学部学生を登録することも可能です)

(来所日程については、[+]を押下すると入力欄が表示されます。必要に応じて適宜[+]を押下して入力欄を追加してください。)

	氏名	所属大学・研究機関	所属学部・研究科等	職名	来所日程
提案代表者 remove	基生研 花子	基礎生物学研究所	情報管理解析室	教授	- 1 泊 2 日 3 回
				助教	- 4 泊 5 日 1 回
所内対応者 remove	亀井保博	基礎生物学研究所	光学解析室	特任准教授	+
					+
分担者 remove	磯貝 知世	同経統合事務センター	共同利用係	係員	- 1 泊 2 日 3 回
					+

add row (分担者)

mail to member(s) ※一時保存してからご利用ください。

合計 (Total) 3 名 (Members)

組織表ダウンロード

特記事項

申込み時点で氏名未定の分担者の参加を予定している場合ここに記入

4月に着任予定の研究員 1泊2日3回, 4泊5日1回

(例: 4月に着任予定の研究員 ○泊○日○回)

③詳細3 研究業績については、"add row"で提案代表者又は分担者を追加し、主要な研究論文をご記入ください。"+"で行を追加、"- "で行を削除できます。また、基生研共同利用研究の成果論文には成果の欄にチェックを入力してください。

2019年度 重点共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details) - 1

4. 研究内容(details) - 2

5. 研究業績

6. 図表・別紙

研究業績

最近5年間に国際学術誌に公表した主要な学術研究論文について分担者も含め、各研究者5報程度記入すること。※本研究共同利用研究の成果である論文については、必ず成果のチェックボックスにチェックを入れること。

提案代表者 又は分担者氏名		成果	著者・論文(著書)名・学協会誌(発行所)名・巻・頁・発行年	DOI
		☒	Takao Takada, Yusuke Mii, Elena Krayukhina, Yuusuke Maruyama, Kazuhiro Mio, Yoshikazu Sasaki, Takao Shinkawa, Chan-Gi Pack, Yasushi Sako, Yara Sato, Susumu Uchiyama, and Shinji Takada Assembly of protein complexes restricts diffusion of Wnt3a proteins Communications Biology 2018 Oct 10	10.1038/s42003-018-0172
基生研 花子		☒	Timothy R. Fallon, Sarah E. Lower, Ching-Ho Chang, Manabu Bessho-Uehara, Gavin J. Martin, Megan Behringer, Humberto J. Debat, Isaac Wong, John C. Day, Christian J. Silva, Kathrin F. Stanger-Hall, David W. Hall, Robert J. Schmitz, David R. Nelson, Sara M. Lewis, Shuji Shigenobu, Seth M. Bybee, Amanda M. Larracuente, Yuichi Oba, Jing-Ke Weng Firefly genomes illuminate parallel origins of bioluminescence in beetles eLife 2018 Oct 16	10.7554/eLife.36495
		☐		

add row

③詳細4 図表については、"add row"で追加できます(5点以内としてください)。また、JPEG等は極力使用せず、PDFを作成して添付してください。図表が複数になる場合は、"Image layout"で1ページに収める図表の数を選択できます。

2019年度 重点共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details) - 1

4. 研究内容(details) - 2

5. 研究業績

6. 図表・別紙

図・表・式(figure, table, equation)

Image layout(size) 2 per page

--	Label		Title/Caption	File upload
remove	PDF	1	研究計画補足	D:\My Documents\NOUS 参照... upload

[Display](#) [Download](#) PDF File Name : 1-30重点申込書_180123final.pdf

[add row](#)

図・表の添付は5点以内してください

③詳細5 入力した内容はPDF(Download)からPDF出力が可能ですので、適宜ご活用下さい。

NOUS Help My Page PDF(Download) 一時保存(Save) Login User: 基生研

2019年度 重点共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。
<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information) 2. 組織(members) 3. 研究内容(details) - 1 4. 研究内容(details) - 2 5. 研究業績 6. 図表・別紙

自然科学研究機構
基礎生物学研究所 殿

整理 No. (研究所側入力欄)			
申込者 (提案代表者)	基生研 花子	〇〇大学	△△学部
研究課題名	test_重点共同利用研究		
新規・継続	☒ 新規申請 ☐ 継続申請 継続 --未選択-- 年度から		
研究期間	研究開始日 2019-04-01	研究終了日 2020-03-31	
所内対応者			
所属長による承認	本研究課題の申込みにあたり、必ず所属長の承認を得てください。 (承認を得た後、以下についてご記入ください。) 所属長の職名 〇〇大学大学院〇〇研究科長 所属長の氏名 △△ △△ 承認を得た日付 2018-12-03 ※所属長とは、申込者が本研究課題を申込むことについて、所属機関として承認することができる立場にある方を指します。(大学においては、学長、学部長、研究科長等が一般的です。)		
希望事項 (500字以内)	nous-dev3.nins.jp から NOUS_App_NIBB_priority_2018-10-26_17_24_26.pdf (54.3 KB) を開くか、または保存し ファイルを開く(O) 保存(S) キャンセル(C)		

tps://nous-dev3.nins.jp/form/edit#T2

④すべてのタブで必要事項の入力が完了したら一時保存してMy Pageに戻り、"submit(提出)"をクリックすると下段のようなダイアログが表示されますので、OKを押してください
※申請途中のデータはMy PageのSTの項目が"ed(編集)"と表示され、締切日まで"edit(編集)"をクリックすれば入力の再開が可能です。submit(提出)をクリックすると"su(提出済)"に変わります。

Change Password My Profile Contact Us Single Sign-on Setting Login User: 基生研 花

My Page

新規申請/New applications:

年度	分類	代表者	タイトル	役割	ST	最終更新日
2019	NIBB-priority	基生研 花子	test_重点共同利用研究	代表者	edit submit withdraw ed	申請書 : 2018-10-26 16:02

Start : new application

Web ページからのメッセージ

Do you really submit an application?

OK キャンセル

edit submit withdraw edit 編集 提出 取下げ

Change Password My Profile Contact Us Single Sign-on Setting Login User: 基生研 花

My Page

新規申請/New applications:

ST(atus): ed(itable) su(bmitted) re(vise)

年度	分類	代表者	タイトル	役割	ST	最終更新日
2019	NIBB-priority	基生研 花子	test_重点共同利用研究	代表者	edit submit withdraw su	申請書 : 2018-10-26 16:05

Start : new application

* 補足 submitすると提案代表者及び所内対応者に申請を受付けた旨の通知メールが届きます

基生研 花子様

共同研究にご申請いただきありがとうございます。

以下の通り、Web 申請 を受け付けました。受付番号は 42 です。

分類番号： NIBB-priority

分類名： 重点共同利用研究

課題名： 「test_重点共同利用研究」

公募期間内であれば、マイページで
"edit"をクリックすることにより、再編集
可能です。

なお、申請締切日までは何度でも自由に差し替え可能ですが、
締切期限を過ぎますと差替え、取下げができなくなります。

※申請書は、Submit 後も締切期限まで差し替え修正が可能です。

一旦、Submit された申請書は、edit⇒一時保存により変更が反映されますので、
再度 Submit ボタンを押す必要はありません。

NOUS : <https://nous-dev3.nins.jp/>

申請までの大まかな流れは以上のとおりですが、引続き次ページ以降の入力方法等の詳細及び
注意事項をご確認ください。

注意事項① 申込みにあたっては、必ず基生研HPの公募要項等をご確認ください

共同利用研究

- 共同利用研究概要
- 大学院教育協力
- IBBP

- 共同利用研究公募
- バイオリソース

- 共同利用研究の成果
- トレーニングコース

共同利用研究公募

共同利用研究 公募案内

基礎生物学研究所は、大学・研究機関などに所属する所外の研究者に対し、所内の研究部門・研究室との共同研究、および所内の施設を利用して行われる研究課題を公募しています。

平成30年度共同利用研究公募要項

▶ 平成30年度共同利用研究の公募について

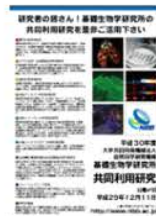
▶ 平成30年度公募事項別の内容

▶ 平成30年度対応研究部門一覧 (PDF)

▶ 平成30年度研究部門の研究の現状 (PDF)

▶ 平成30年度申請紙のダウンロード

▶ 平成30年度共同利用研究公募ポスター



注意事項② ログインした状態で1時間以上放置されるとタイムアウトとなり、再度ログインが必要になりますので、ご注意ください。申請途中に離席する場合等は、必ず「一時保存」してください。

NOUS

Session Timeout (1 hours). Please login again.

Login

注意事項③ NOUSによる申請及び基生研の共同利用研究に関して、ご不明な点等ありましたら、以下の担当係までお気軽にお問い合わせください。

(担当係)

大学共同利用機関法人自然科学研究機構
岡崎統合事務センター
総務部国際研究協力課共同利用係

〒444－8585

愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38

電話 (0564)55－7133

FAX (0564)55－7119

e-mail r7133@orion.ac.jp

③－1入力例／重点共同利用研究 申請基本情報タブ

2019年度 重点共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details) - 1

4. 研究内容(details) - 2

5. 研究業績

6. 図表・別紙

自然科学研究機構
基礎生物学研究所長 殿

整理 No. (研究所側入力欄)	
申込者 (提案代表者)	①
研究課題名	② test_重点共同利用研究2
新規・継続	③ ☒ 新規申請 ☐ 継続申請 継続 --未選択--
研究期間	④ 研究開始日 2019-04-01 研究終了日 2020-03-31
所内対応者	①
所属長による承認	⑤ 本研究課題の申込みにあたり、必ず所属長の承認を得てください。 (承認を得た後、以下についてご記入ください。) 所属長の職名 ○○大学大学院○○研究科長 所属長の氏名 ○○ ○○ 承認を得た日付 2018-12-01 ※所属長とは、申込者が本研究課題を申込むことについて、所属機関として承認することができる立場にある方を指します。(大学においては、学長、学部長、研究科長等が一般的です。) ※所属長の承認を得るにあたっては、一時保存した本申込様式をpdfファイルに出力したものを事務担当部署に提出する等、各機関において必要とされる手続きを行ってください。 ※所属長の承認が得られていないことが判明した場合、申込みを無効とし、採択済であれば採択を取消す場合があります。
希望事項 (500字以内)	⑥ [21 文字] > 単語 : 2

①提案代表者及び所内対応者は研究者検索機能から入力(入力方法は「2.申請(基本)」の③詳細1を参照)

②研究課題名はテキスト入力

③前年度以前から継続して申請する場合は開始年度をドロップダウンより選択

④研究期間の開始日と終了日はカレンダーより選択

⑤共同利用研究を申込むにあたり、承認を得た所属長の職名及び氏名を入力する
承認を得た日付はカレンダーより選択

⑥字数制限テキスト入力の項目は上限を超えないようにカウンタの数字を確認する

③－1入力例／重点共同利用研究 組織タブ

2019年度 重点共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPIに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

入力方法の詳細は「2.申請(基本)」
の③詳細2-1をご覧ください。

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details) - 1

4. 研究内容(details) - 2

5. 研究業績

6. 図表・別紙

分担者の所属・職・氏名

(研究補助者として学部学生を登録することも可能です)

	氏名	所属大学・研究機関	所属学部・研究科等	職名
提案代表者 remove				
所内対応者 remove				
分担者 remove				

add row (分担者)

create mail ※一時保存してからご利用ください。

合計 (Total)

2

名 (Members)

組織表ダウンロード

③－１入力例／重点共同利用研究 研究内容－１タブ

2019年度 重点共同利用研究申込書

字数制限テキスト入力の項目は上限を超えないようにカウンタの数字を確認する

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公報事項等必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details) - 1

4. 研究内容(details) - 2

5. 研究業績

6. 図表・別紙

研究計画書

1. 研究の目的 (500字以内)

[492 文字] > 単語 : 32

2. 重点共同利用研究として推進する必要性 (500字以内)

[92 文字] > 単語 : 4

3. 研究の独創性、萌芽性、将来的な展望 (500字以内)

[478 文字] > 単語 : 36

4. 研究計画 (2000字以内)

[331 文字] > 単語 : 17

5. 準備状況又は継続の必要性 (1000字以内)

新規申請の場合：これまでの研究経過と準備状況
継続申請の場合：継続の必要性とこれまでの研究成果
[296 文字] > 単語 : 21

①

①新規申請の場合はこれまでの研究経過と準備状況，継続申請の場合は継続の必要性とこれまでの研究成果を記入する

6. 所内対応者と提案代表者及び分担者の役割分担 (500字以内)

[365 文字] > 単語 : 19

③－１入力例／重点共同利用研究 研究内容－２ タブ

①旅費，消耗品費，その他印刷製本費等について千円単位で記入する）

2019年度 重点共同利用研究申込書

②(ア)～(ク)の項目について該当の有無をチェック

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details) - 1

4. 研究内容(details) - 2

5. 研究業績

6. 図表・別紙

研究計画書

7. 必要とする研究費の内訳

①

研究費の申請は、提案代表者が所外である場合、所内対応者と十分研究計画を打合せの上、300万円を限度として記入してください。（人件費の支出はできません。また、経費は基礎生物学研究所で使用していただきます。）

旅 費 300 千円

消耗品費 150 千円

その他印刷製本費等 100 千円

合 計 550 千円

合計は一時保存後に自動表示されます。

自動計算

8. アイソトープ、遺伝子組換え、動物実験等について

②

(ア) アイソトープ ☐ 有 ☒ 無

(イ) 遺伝子組換え ☐ 有 ☒ 無

(ウ) 動物実験 ☐ 有 ☒ 無

(エ) ヒトゲノム・遺伝子解析 ☐ 有 ☒ 無

(オ) 光学解析室：大型スペクトログラフ ☐ 有 ☒ 無

光学解析室：顕微鏡 ☐ 有 ☒ 無

(カ) 生物機能情報分析室 ☐ 有 ☒ 無

(キ) 電子顕微鏡 ☐ 有 ☒ 無

(ク) 大型電子計算機 ☐ 有 ☒ 無

③－1入力例／重点共同利用研究 研究業績タブ

入力方法の詳細は「2.申請(基本)」
の③詳細3をご覧ください。

2019年度 重点共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details) - 1

4. 研究内容(details) - 2

5. 研究業績

6. 図表・別紙

研究業績

最近5年間に国際学術誌に公表した主要な学術研究論文について分担者も含め、各研究者5報程度記入すること。※本研究共同利用研究の成果である論文については、必ず成果のチェックボックスにチェックを入れること。

提案代表者 又は分担者氏名		成果	著者・論文(著書)名・学協会誌(発行所)名・巻・頁・発行年	DOI
		☒	Ritsuko Takada, Yusuke Mii, Elena Krayukhina, Yuusuke Maruyama, Kazuhiro Mio, Yoshikazu Sasaki, Takao Shinkawa, Chan-Gi Pack, Yasushi Sako, Chikara Sato, Susumu Uchiyama, and Shinji Takada Assembly of protein complexes restricts diffusion of Wnt3a proteins Communications Biology 2018 Oct 10	10.1038/s42003-018-0172
基生研 花子 		☒	Timothy R. Fallon, Sarah E. Lower, Ching-Ho Chang, Manabu Bessho-Uehara, Gavin J. Martin, Megan Behringer, Humberto J. Debat, Isaac Wong, John C. Day, Christian J. Silva, Kathrin F. Stanger-Hall, David W. Hall, Robert J. Schmitz, David R. Nelson, Sara M. Lewis, Shuji Shigenobu, Seth M. Bybee, Amanda M. Larracuente, Yuichi Oba, Jing-Ke Weng Firefly genomes illuminate parallel origins of bioluminescence in beetles eLife 2018 Oct 16	10.7554/eLife.36495
		☐		

add row

③－１入力例／重点共同利用研究 図表・別紙タブ

入力方法の詳細は「2.申請(基本)」
の③詳細4をご覧ください。

2019年度 重点共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details) - 1

4. 研究内容(details) - 2

5. 研究業績

6. 図表・別紙

図・表・式(figure, table, equation)

Image layout(size)

2 per page

--	Label		Title/Caption	File upload
remove	PDF	1	研究計画補足	D:\¥Mv Documents¥NOU 参照... upload
Display Download PDF File Name : 1-30重点申込書_180123final.pdf				

[add row](#)

③－2入力例／モデル生物・技術開発共同利用研究 申請基本情報タブ

①提案代表者及び所内対応者は研究者検索機能から入力(入力方法は「2.申請(基本)」の③詳細1を参照)

2019年度 モデル生物・技術開発共同利用研究申

②研究課題名はテキスト入力

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

③前年度以前から継続して申請する場合は開始年度をドロップダウンより選択

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details) - 1

4. 研究内容(details) - 2

5. 研究業績

6. 図表・別紙

自然科学研究機構
基礎生物学研究所長 殿

④研究期間の開始日と終了日はカレンダーより選択

整理 No. (研究所側入力欄)	
申込者 (提案代表者)	①
研究課題名	② test_モデル生物・技術開発共同利用研究
新規・継続	③ ☐ 新規申請 ☒ 継続申請 継続 2018
研究期間	④ 研究開始日 2019-04-01 研究終了日 2020-03-31
所属長による承認	⑤ 本研究課題の申込みにあたり、必ず所属長の承認を得てください。 (承認を得た後、以下についてご記入ください。) 所属長の職名 ○○大学大学院○○研究科長 所属長の氏名 ○○ ○○ 承認を得た日付 2018-12-03 ※所属長とは、申込者が本研究課題を申込みことについて、所属機関として承認することができる立場にある方を指します。(大 ※所属長の承認を得るにあたっては、一時保存した本申込様式をpdfファイルに出力したものを事務担当部署に提出する等、各機関において必要とされる手続きを行ってください。 ※所属長の承認が得られていないことが判明した場合、申込みを無効とし、採択済であれば採択を取消す場合があります。
所内対応者名	①
希望事項 (500字以内)	⑥ [79 文字] > 単語 : 6

⑤共同利用研究を申込むにあたり、承認を得た所属長の職名及び氏名を入力する
承認を得た日付はカレンダーより選択

⑥字数制限テキスト入力の項目は上限を超えないようにカウンタの数字を確認する

③ー2入力例／モデル生物・技術開発共同利用研究 組織タブ

入力方法の詳細は「2.申請(基本)」
の③詳細2-1をご覧ください。

2019年度 モデル生物・技術開発共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details) - 1

4. 研究内容(details) - 2

5. 研究業績

6. 図表・別紙

分担者の所属・職・氏名

(研究補助者として学部学生を登録することも可能です)

	氏名	所属大学・研究機関	所属学部・研究科等	職名
提案代表者 remove				
所内対応者 remove				
分担者 remove				
分担者 remove				

add row (分担者)

mail to member(s) ※一時保存してからご利用ください。

合計 (Total)

2

名 (Members)

組織表ダウンロード

③－2入力例／モデル生物・技術開発共同利用研究 研究内容－1 タブ

字数制限テキスト入力の項目は上限を超えないようにカウンタの数字を確認する

2019年度 モデル生物・技術開発共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details) - 1

4. 研究内容(details) - 2

5. 研究業績

6. 図表・別紙

研究計画書

1. 研究の目的 (500字以内)

[394 文字] > 単語 : 15

2. 研究計画 (1000字以内)

[140 文字] > 単語 : 8

3. 準備状況又は継続の必要性 (1000字以内)

新規申請の場合：これまでの研究経過と準備状況
継続申請の場合：継続の必要性とこれまでの研究成果
[534 文字] > 単語 : 33

①

4. 共同利用研究をする必要性と所内対応者との役割分担 (500字以内)

[222 文字] > 単語 : 11

①新規申請の場合はこれまでの研究経過と準備状況，継続申請の場合は継続の必要性とこれまでの研究成果を記入する

③－２入力例／モデル生物・技術開発共同利用研究 研究内容－２タブ

①旅費，消耗品費，その他印刷製本費等について千円単位で記入する）

2019年度 モデル生物・技術開発共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

②(ア)～(ク)の項目について該当の有無をチェック

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details) - 1

4. 研究内容(details) - 2

5. 研究業績

6. 図表・別紙

研究計画書

5. 必要とする研究費の内訳

①

研究費の申請は、提案代表者が所外である場合、所内対応者と十分研究計画を打合せの上、100万円を限度として記入してください。（人件費の支出はできません。また、経費は基礎生物学研究所で使用していただきます。）

旅 費	100	千円
消耗品費	50	千円
その他印刷製本費等	30	千円
合 計		千円

合計は一時保存後に自動表示されます。

自動計算

6. アイストープ、遺伝子組換え、動物実験等について

②

- (ア) アイストープ ☐ 有 ☒ 無
- (イ) 遺伝子組換え ☐ 有 ☒ 無
- (ウ) 動物実験 ☐ 有 ☒ 無
- (エ) ヒトゲノム・遺伝子解析 ☐ 有 ☒ 無
- (オ) 光学解析室：大型スペクトログラフ ☐ 有 ☒ 無
- 光学解析室：顕微鏡 ☐ 有 ☒ 無
- (カ) 生物機能情報分析室 ☐ 有 ☒ 無
- (キ) 電子顕微鏡 ☐ 有 ☒ 無
- (ク) 大型電子計算機 ☐ 有 ☒ 無

③－2入力例／モデル生物・技術開発共同利用研究 研究業績タブ

入力方法の詳細は「2. 申請(基本)
の③詳細3をご覧ください。

2019年度 モデル生物・技術開発共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

四角形の領域切り取り(R)

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details) - 1

4. 研究内容(details) - 2

5. 研究業績

6. 図表・別紙

研究業績

提案代表者が最近5年間に国際学術誌に公表した主要な学術研究論文を記載すること。※本研究所共同利用研究の成果である論文については、必ず成果のチェックボックスにチェックを入れること。

提案代表者		成果	著者・論文(著書)名・学協会誌(発行所)名・巻・頁・発行年	DOI
基生研 花子		☒	Ritsuko Takada, Yusuke Mii, Elena Krayukhina, Yuusuke Maruyama, Kazuhiro Mio, Yoshikazu Sasaki, Takao Shinkawa, Chan-Gi Pack, Yasushi Sako, Chikara Sato, Susumu Uchiyama, and Shinji Takada Assembly of protein complexes restricts diffusion of Wnt3a proteins Communications Biology 2018 Oct 10	10.1038/s42003-018-0172-x 
		☐		

③ー2入力例／モデル生物・技術開発共同利用研究 図表・別紙タブ

入力方法の詳細は「2. 申請(基本)
の③詳細4をご覧ください。

2019年度 モデル生物・技術開発共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information) 2. 組織(members) 3. 研究内容(details) - 1 4. 研究内容(details) - 2 5. 研究業績 6. 図表・別紙

図・表・式(figure, table, equation)

Image layout(size) 3 per page

--	Label	Title/Caption	File upload
remove	PDF	研究の流れ	D:\¥My Documents¥NOUS test¥2-3C 参照... upload
Display Download PDF File Name : 2-30モデル生物申込書.pdf			
remove			参照... upload

No Image

③－3入力例／個別共同利用研究 申請基本情報タブ

①提案代表者及び所内対応者は研究者検索機能から入力(入力方法は「2.申請(基本)」の③詳細1を参照)

2019年度個別共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details)

4. 研究業績

5. 図表・別紙

自然科学研究機構
基礎生物学研究所長 殿

整理 No. (研究所側入力欄)	
申込者 (提案代表者)	①
研究課題名	② test_個別共同利用研究
新規・継続	③ ☐ 新規申請 ☒ 継続申請
研究期間	④ 継続 2018
所内対応者	①
所属長による承認	⑤ 本研究課題の申込みにあたり、必ず所属長の承認を得てください。 (承認を得た後、以下についてご記入ください。) 所属長の職名 ○○大学大学院○○研究科長 所属長の氏名 ○○ ○○ 承認を得た日付 2018-12-03 ※所属長とは、申込者が本研究課題を申込むことについて、所属機関として承認することができる立場にある方を指します。(大学においては、学長、学部長、研究科長等が一般的です。) ※所属長の承認を得るにあたっては、一時保存した本申込様式をpdfファイルに出力したものを事務担当部署に提出する等、各機関において必要とされる手続きを行ってください。 ※所属長の承認が得られていないことが判明した場合、申込みを無効とし、採択済であれば採択を取消す場合があります。
希望事項 (500字以内)	⑥ [62 文字] > 単語 : 6

②研究課題名はテキスト入力

③前年度以前から継続して申請する場合は開始年度をドロップダウンより選択

④研究期間の開始日と終了日はカレンダーより選択

⑤共同利用研究を申込むにあたり、承認を得た所属長の職名及び氏名を入力する
承認を得た日付はカレンダーより選択

⑥字数制限テキスト入力の項目は上限を超えないようにカウンタの数字を確認する

③ー3入力例／個別共同利用研究 組織タブ

2019年度個別共同利用研究申込書

入力方法の詳細は「2.申請(基本)」
の③詳細2-2をご覧ください。

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details)

4. 研究業績

5. 図表・別紙

分担者の所属・職・氏名

(研究補助者として学部学生を登録することも可能です)

(来所日程については、「+」を押下すると入力欄が表示されます。必要に応じて適宜「+」を押下して入力欄を追加してください。)

	氏名	所属大学・研究機関	所属学部・研究科等	職名	来所日程
提案代表者 remove					- 1 泊 2 日 3 回
					- 0 泊 1 日 2 回
					+
所内対応者 remove					- 1 泊 2 日 3 回
					+
分担者 remove					+

add row (分担者)

mail to member(s) ※一時保存してからご利用ください。

合計 (Total)

2

名 (Members)

組織表ダウンロード

特記事項

申込み時点で氏名未定の分担者の参加を予定している場合ここに記入

4月に着任予定の研究員 2泊3日2回, 1泊2日1回

(例: 4月に着任予定の研究員 ○泊○日○回)

③ー3入力例／個別共同利用研究 研究内容タブ

2019年度個別共同利用研究申込書

字数制限テキスト入力の項目は上限を超えないようにカウンタの数字を確認する

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。
<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information) 2. 組織(members) 3. 研究内容(details) 4. 研究業績 5. 図表・別紙

研究計画書

1. 研究の目的 (500文字)	[448 文字] > 単語 : 24
2. 研究計画 (1000字以内)	基礎生物学研究所に未所して実施する研究内容も含めて具体的に記載すること。 [287 文字] > 単語 : 18
3. 準備状況又は継続の必要性 (1000字以内)	新規申請の場合：これまでの研究経過と準備状況 継続申請の場合：継続の必要性とこれまでの研究成果 [507 文字] > 単語 : 27
4. 共同利用研究をする必要性と所内対応者との役割分担 (500字以内)	[303 文字] > 単語 : 14
5. アイントープ、遺伝子組換え、動物実験等について	(ア) アイントープ ☐ 有 ☒ 無 (イ) 遺伝子組換え ☐ 有 ☒ 無 (ウ) 動物実験 ☐ 有 ☒ 無 (エ) ヒトゲノム・遺伝子解析 ☐ 有 ☒ 無 (オ) 光学解析室：大型スペクトログラフ ☐ 有 ☒ 無 光学解析室：顕微鏡 ☐ 有 ☒ 無 (カ) 生物機能情報分析室 ☐ 有 ☒ 無 (キ) 電子顕微鏡 ☐ 有 ☒ 無 (ク) 大型電子計算機 ☐ 有 ☒ 無

①新規申請の場合はこれまでの研究経過と準備状況，継続申請の場合は継続の必要性とこれまでの研究成果を記入する

②(ア)～(ク)の項目について該当の有無をチェック

①

②

③ー3入力例／個別共同利用研究 研究業績タブ

入力方法の詳細は「2.申請(基本)」
の③詳細3をご覧ください。

2019年度個別共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details)

4. 研究業績

5. 図表・別紙

研究業績

提案代表者が最近5年間に国際学術誌に公表した学術研究論文のうち、主要な論文を10報以内で記載すること。また、それ以外に本研究所共同利用研究の成果としての論文がある場合は、最近5年間より以前に公表された論文を含めて全て記載すること。

※本研究所共同利用研究の成果である論文については、必ず成果のチェックボックスにチェックを入れること。

提案代表者		成果	著者・論文(著書)名・学協会誌(発行所)名・巻・頁・発行年	DOI
基生研 花子		☒	Ritsuko Takada, Yusuke Mii, Elena Krayukhina, Yuusuke Maruyama, Kazuhiro Mio, Yoshikazu Sasaki, Takao Shinkawa, Chan-Gi Pack, Yasushi Sako, Chikara Sato, Susumu Uchiyama, and Shinji Takada Assembly of protein complexes restricts diffusion of Wnt3a proteins Communications Biology 2018 Oct 10	10.1038/s42003-018-0172-x 
		☐		
				

③ー3入力例／個別共同利用研究 図表・別紙タブ

入力方法の詳細は「2.申請(基本)」
の③詳細4をご覧ください。

2019年度個別共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details)

4. 研究業績

5. 図表・別紙

図・表・式(figure, table, equation)

Image layout(size)

1 per page

--	Label	Title/Caption	File upload
remove	PDF	研究計画補足	D:\My Documents\NIOUS test\3-30個別 参照... upload
Display Download PDF File Name : 3-30個別申込書_180123final - コピー.pdf			
remove			参照... upload

No Image

[add row](#)

③ー4入力例／統合ゲノミクス共同利用研究 申請基本情報タブ

2019年度 統合ゲノミクス共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details)

4. 研究業績

5. 図・表・式(figure, table, equation)

自然科学研究機構
基礎生物学研究所 長 殿

整理 No. (研究所側入力欄)		
申込者 (提案代表者)	①	
研究課題名	② test_統合ゲノミクス	
カテゴリー	③ ☒ A. ゲノミクス ☒ B. バイオインフォマティクス	
新規・継続	④ ☐ 新規申請 ☒ 継続申請	
研究期間	⑤ 継続 2018	
研究開始日	2019-04-01	研究終了日 2020-03-31
所内対応者	①	
所属長による承認	⑥ 本研究課題の申込みにあたり、必ず所属長の承認を得てください。 (承認を得た後、以下についてご記入ください。) 所属長の職名 ○○大学大学院○○研究科長 所属長の氏名 ○○ ○○ 承認を得た日付 2018-12-03 ※所属長とは、申込者が本研究課題を申込むことについて、所属機関として承認することができる立場にある方を指します。(大学においては、学長) ※所属長の承認を得るにあたっては、一時保存した本申込様式をpdfファイルに出力したものを事務担当部署に提出する等、各機関において必要となる ※所属長の承認が得られていないことが判明した場合、申込みを無効とし、採択済であれば採択を取消す場合があります。	
希望事項 (500字以内)	⑦ [59 文字] > 単語 : 3	

①提案代表者及び所内対応者は研究者検索機能から入力(入力方法は「2.申請(基本)」の③詳細1を参照)

②研究課題名はテキスト入力

③カテゴリーを選択して片方もしくは両方にチェックを入れる

④前年度以前から継続して申請する場合は開始年度をドロップダウンより選択

⑤研究期間の開始日と終了日はカレンダーより選択

⑥共同利用研究を申込むにあたり、承認を得た所属長の職名及び氏名を入力する
承認を得た日付はカレンダーより選択

⑦字数制限テキスト入力の項目は上限を超えないようにカウンタの数字を確認する

③ー4入力例／統合ゲノミクス共同利用研究組織タブ

2019年度 統合ゲノミクス共同利用研究申込書

入力方法の詳細は「2.申請(基本)」の③詳細2-2をご覧ください。

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details)

4. 研究業績

5. 図・表・式(figure, table, equation)

分担者の所属・職・氏名

(研究補助者として学部学生を登録することも可能です)

(来所日程については、「+」を押下すると入力欄が表示されます。必要に応じて適宜「+」を押下して入力欄を追加してください。)

	氏名	所属大学・研究機関	所属学部・研究科等	職名	来所日程
提案代表者 remove					- 2 泊 3 日 4 回
					- 1 泊 2 日 2 回
					+
所内対応者 remove					- 0 泊 1 日 3 回
					+

add row (分担者)

mail to member(s) ※一時保存してからご利用ください。

合計 (Total)

2

名 (Members)

組織表ダウンロード

特記事項

申込み時点で氏名未定の分担者の参加を予定している場合ここに記入

4月に着任予定の研究員 2泊3日2回, 3泊4日1回

(例: 4月に着任予定の研究員 ○泊○日○回)

③ー4入力例／統合ゲノミクス共同利用研究 研究内容タブ

2019年度 統合ゲノミクス共同利用研究申込書

字数制限テキスト入力の項目は上限を超えないようにカウンタの数字を確認する

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等必ずご確認ください。 http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html	
1. 申請基本情報(basic information) 2. 組織(members) 3. 研究内容(details) 4. 研究業績 5. 図・表・式(figure, table, equation)	
研究計画書	
1. 研究の目的 (500字以内)	[456 文字] > 単語 : 28
2. 研究計画 (1000字以内)	基礎生物学研究所に來所して実施する研究内容も含めて具体的に記載すること。 [532 文字] > 単語 : 33
3. 準備状況又は継続の必要性 (1000字以内)	新規申請の場合：これまでの研究経過と準備状況 継続申請の場合：継続の必要性とこれまでの研究成果 [270 文字] > 単語 : 13
4. 共同利用研究として推進する必要性 (500字以内)	[334 文字] > 単語 : 24
5. 所内対応者と提案代表者及び共同利用研究者の役割分担 (500字以内)	[164 文字] > 単語 : 14
6. アイントープ、遺伝子組換え、動物実験等について	(ア) アイントープ ☐ 有 ☒ 無 (イ) 遺伝子組換え ☐ 有 ☒ 無 (ウ) 動物実験 ☐ 有 ☒ 無 (エ) ヒトゲノム・遺伝子解析 ☐ 有 ☒ 無 (オ) 光学解析室：大型スペクトログラフ ☐ 有 ☒ 無 光学解析室：顕微鏡 ☐ 有 ☒ 無 (カ) 生物機能情報分析室 ☐ 有 ☒ 無 (キ) 電子顕微鏡 ☐ 有 ☒ 無 (ク) 大型電子計算機 ☐ 有 ☒ 無

①新規申請の場合はこれまでの研究経過と準備状況，継続申請の場合は継続の必要性とこれまでの研究成果を記入する

②(ア)～(ク)の項目について該当の有無をチェック

③ー4入力例／統合ゲノミクス共同利用研究 研究業績タブ

入力方法の詳細は「2.申請(基本)」
の③詳細3をご覧ください。

2019年度 統合ゲノミクス共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details)

4. 研究業績

5. 図・表・式(figure, table, equation)

研究業績

提案代表者が最近5年間に国際学術誌に公表した学術研究論文のうち、主要な論文を10報以内で記載すること。また、それ以外に本研究所共同利用研究の成果としての論文がある場合は、最近5年間より以前に公表された論文を含めて全て記載すること。

※本研究所共同利用研究の成果である論文については、必ず成果のチェックボックスにチェックを入れること。

提案代表者		成果	著者・論文(著書)名・学協会誌(発行所)名・巻・頁・発行年	DOI
基生研 花子		☒	Ritsuko Takada, Yusuke Mii, Elena Krayukhina, Yuusuke Maruyama, Kazuhiro Mio, Yoshikazu Sasaki, Takao Shinkawa, Chan-Gi Pack, Yasushi Sako, Chikara Sato, Susumu Uchiyama, and Shinji Takada Assembly of protein complexes restricts diffusion of Wnt3a proteins Communications Biology 2018 Oct 10	10.1038/s42003-018-0172-x 
		☐		
				

③ー4入力例／統合ゲノミクス共同利用研究 図表・別紙タブ

入力方法の詳細は「2.申請(基本)」
の③詳細4をご覧ください。

2019年度 統合ゲノミクス共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information) 2. 組織(members) 3. 研究内容(details) 4. 研究業績 5. 図・表・式(figure, table, equation)

図・表・式(figure, table, equation)

Image layout(size)

3 per page

--	Label	Title/Caption	File upload
remove	PDF	統合ゲノミクス研究計画補足	D:\My Documents\NOUS test\統合ゲノミクス研究計画補足.pdf 参照... upload
Display Download PDF File Name : 統合ゲノミクス申込書.pdf			
remove			参照... upload

No Image

[add row](#)

③ー5入力例／統合イメージング共同利用研究 申請基本情報タブ

2019年度 統合イメージング共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details)

4. 研究業績

5. 図表・別紙

自然科学研究機構
基礎生物学研究所 殿

整理 No. (研究所側入力欄)			
申込者 (提案代表者)	①		
研究課題名	②	test_統合イメージング	
カテゴリ	③	*対象となるカテゴリ (片方または両方) を選択してください。 ☒ A. 先端顕微鏡利用 ☒ B. 生物画像処理・画像解析	
新規・継続	④	☐ 新規申請 ☒ 継続申請 継続 2018	
研究期間	⑤	研究開始日 2019-04-01 研究終了日 2020-03-31	
所内対応者名	①		
所属長による承認	⑥	本研究課題の申込みにあたり、必ず所属長の承認を得てください。 (承認を得た後、以下についてご記入ください。) 所属長の職名 ○○大学大学院○○研究科長 所属長の氏名 ○○ ○○ 承認を得た日付 2018-12-03 ※所属長とは、申込者が本研究課題を申込むことについて、所属機関として承認することができる立場にある方を指します。(大学においては、学長、 ※所属長の承認を得るにあたっては、一時保存した本申込様式をpdfファイルに出力したものを事務担当部署に提出する等、各機関において必要とされ ※所属長の承認が得られていないことが判明した場合、申込みを無効とし、採択済であれば採択を取消す場合があります。	
希望事項 (500字以内)	⑦	[39 文字] > 単語 : 3	

①提案代表者及び所内対応者は研究者検索機能から入力(入力方法は「2.申請(基本)」の③詳細1を参照)

②研究課題名はテキスト入力

③カテゴリを選択して片方もしくは両方にチェックを入れる

④前年度以前から継続して申請する場合は開始年度をドロップダウンより選択

⑤研究期間の開始日と終了日はカレンダーより選択

⑥共同利用研究を申込むにあたり、承認を得た所属長の職名及び氏名を入力する
承認を得た日付はカレンダーより選択

⑦字数制限テキスト入力の項目は上限を超えないようにカウンタの数字を確認する

③ー5入力例／統合イメージング共同利用研究 組織タブ

2019年度 統合イメージング共同利用研究申込書

入力方法の詳細は「2.申請(基本)」
の③詳細2-2をご覧ください。

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details)

4. 研究業績

5. 図表・別紙

担当者の所属・職・氏名

(研究補助者として学部学生を登録することも可能です)

(来所日程については、[+]を押下すると入力欄が表示されます。必要に応じて適宜[+]を押下して入力欄を追加してください。)

	氏名	所属大学・研究機関	所属学部・研究科等	職名		来所日程
提案代表者 remove					-	0 泊 1 日 2 回
					-	1 泊 2 日 3 回
					+	
所内対応者 remove					-	1 泊 2 日 3 回
					+	
分担者 remove					+	

add row (分担者)

mail to member(s) ※一時保存してからご利用ください。

合計 (Total) 2 名 (Members)

組織表ダウンロード

特記事項

申込み時点で氏名未定の分担者の参加を予定している場合ここに記入

4月に着任予定の研究員 2泊3日2回, 3泊4日1回

(例: 4月に着任予定の研究員 ○泊○日○回)

③ー5入力例／統合イメージング共同利用研究 研究内容タブ i

字数制限テキスト入力の項目は上限
を超えないようにカウンタの数字を確認する

2019年度 統合イメージング共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPIに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

①申請基本情報タブのカテゴリーで
Bを選択した場合、チェックを入れる

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details)

4. 研究業績

5. 図表・別紙

研究計画書

0. 研究内容のカテゴリー (詳細)

※ B. 生物画像処理・画像解析のカテゴリーを含む方はいずれかを選択してください。「④その他」の場合は概要を記入してください。(A.の場合は記入不要です。)

- ☒ ①新規の画像処理・解析手法の開発研究
☐ ②アプリケーションソフトウェアの開発研究
☐ ③画像解析を目的とした実験系の構築
☐ ④その他 (100字以内)

①

概要

[0 文字] > 単語 : 0

1. 研究の目的 (500字以内)

[485 文字] > 単語 : 27

2. 研究計画 (1000字以内)

基礎生物学研究所に未所して実施する研究内容も含めて具体的に記載すること。

[258 文字] > 単語 : 15

3. 準備状況又は継続の必要性 (1000字以内)

新規申請の場合：これまでの研究経過と準備状況
継続申請の場合：継続の必要性とこれまでの研究成果

[268 文字] > 単語 : 10

②

②新規申請の場合はこれまでの研究経過と準備状況、継続申請の場合は継続の必要性とこれまでの研究成果を記入する

③ー5入力例／統合イメージング共同利用研究 研究内容タブ ii

字数制限テキスト入力の項目は上限
を超えないようにカウンタの数字を確認する

2019年度 統合イメージング共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details)

4. 研究業績

5. 図表・別紙

4. 共同利用研究として推進する必要性 (500字以内)

[135 文字] > 単語 : 7

5. 所内対応者と提案代表者及び分担者の役割分担 (500字以内)

[94 文字] > 単語 : 6

6. アイソトープ、遺伝子組換え、動物実験等について

(ア) アイソトープ ☐ 有 ☒ 無

(イ) 遺伝子組換え ☐ 有 ☒ 無

(ウ) 動物実験 ☐ 有 ☒ 無

(エ) ヒトゲノム・遺伝子解析 ☐ 有 ☒ 無

(オ) 光学解析室：大型スペクトログラフ ☐ 有 ☒ 無

光学解析室：顕微鏡 ☐ 有 ☒ 無

(カ) 生物機能情報解析室 ☐ 有 ☒ 無

(キ) 電子顕微鏡 ☐ 有 ☒ 無

(ク) 大型電子計算機 ☐ 有 ☒ 無

7. 使用する生物種と、観察時や、短期保管に必要な施設や条件 (温度・湿度・海水など) について

(ア)～(ク)の項目について該当の
有無をチェック

③ー5入力例／統合イメージング共同利用研究 研究業績タブ

入力方法の詳細は「2. 申請(基本)」
の③詳細3をご覧ください。

2019年度 統合イメージング共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details)

4. 研究業績

5. 図表・別紙

研究業績

提案代表者が最近5年間に国際学術誌に公表した学術研究論文のうち、主要な論文を10報以内で記載すること。また、それ以外に本研究共同利用研究の成果としての論文がある場合は、最近5年より以前に公表された論文を含めて全て記載すること。

※本研究共同利用研究の成果である論文については、必ず成果のチェックボックスにチェックを入れること。

提案代表者		成果	著者・論文(著書)名・学協会誌(発行所)名・巻・頁・発行年	DOI
機貝 知世	-	☒	Ritsuko Takada, Yusuke Mii, Elena Krayukhina, Yuusuke Maruyama, Kazuhiro Mio, Yoshikazu Sasaki, Takao Shinkawa, Chan-Gi Pack, Yasushi Sako, Chikara Sato, Susumu Uchiyama, and Shinji Takada Assembly of protein complexes restricts diffusion of Wnt3a proteins Communications Biology 2018 Oct 10	10.1038/s42003-018-0172-x
	-	☐		
	+	☐		

③ー5入力例／統合イメージング共同利用研究 図表・別紙タブ

入力方法の詳細は「2.申請(基本)」
の③詳細4をご覧ください。

2019年度 統合イメージング共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details)

4. 研究業績

5. 図表・別紙

図・表・式(figure, table, equation)

Image layout(size) 3 per page

--	Label		Title/Caption	File upload
remove	PDF	1	イメージング 研究概要補足	D:\My Documents\NOUS_test\イメージング 参照 upload
Display Download PDF File Name : イメージング.pdf				
remove				参照 upload

No Image

[add row](#)

図・表の添付は5点以内にしてください

③ー6入力例／研究会 申請基本情報タブ

①提案代表者及び所内対応者は研究者検索機能から入力(入力方法は「2.申請(基本)」の③詳細1を参照)

2019年度 研究会申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 発表予定者

3. 図表・別紙

自然科学研究機構
基礎生物学研究所 総

申込者(提案代表者)	①	
研究会の研究課題名	②	test_研究会
研究会の概要(1000字以内)	③	目的・実施内容(過去に本研究所で類似した研究課題で研究会を開催したことがある場合は今回の申請との関連を記入願います。) [575 文字] > 単語 : 50
開催希望年月日(3日以内)	④	開始日 2019-04-01 終了日 2020-03-31
所内対応者	①	
所属長による承認	⑤	本研究課題の申込みにあたり、必ず所属長の承認を得てください。 (承認を得た後、以下についてご記入ください。) 所属長の職名 ○○大学大学院○○研究科長 所属長の氏名 ○○ ○○ 承認を得た日付 2018-12-03 ※所属長とは、申込者が本研究課題を申込むことについて、所属機関として承認することができる立場にある方を指します。(大学においては、学長、学部長、研究科長等が一般的です。) ※所属長の承認を得るにあたっては、一時保存した本申込様式をpdfファイルに出力したものを事務担当部署に提出する等、各機関において必要とされる手続きを行ってください。 ※所属長の承認が得られていないことが判明した場合、申込みを無効とし、採択済であれば採択を取消す場合があります。
希望事項(500字以内)	③	[32 文字] > 単語 : 3

②研究会の研究課題名はテキスト入力

③字数制限テキスト入力の項目は上限を超えないようにカウンタの数字を確認する

④開催希望年月日の開始日と終了日はカレンダーより選択(3日以内)

⑤共同利用研究を申込むにあたり、承認を得た所属長の職名及び氏名を入力する
承認を得た日付はカレンダーより選択

③－6入力例／研究会 発表予定者タブ

2019年度 研究会申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

入力方法の詳細は「2.申請(基本)」
の③詳細2-1をご覧ください。

1. 申請基本情報(basic information)

2. 発表予定者

3. 図表・別紙

提案代表者、発表予定者

	氏名	所属大学・研究機関	所属学部・研究科等	職名	備考
提案代表者 remove					
所内対応者 remove					
発表予定者 remove					
発表予定者 remove					
発表予定者 remove					

add row (発表予定者)

mail to member(s) ※一時保存してからご利用ください。

合計 (Total) 4 名 (Members)

組織表ダウンロード

③ー6入力例／研究会 図表・別紙タブ

入力方法の詳細は「2.申請(基本)」
の③詳細4をご覧ください。

2019年度 研究会申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 発表予定者

3. 図表・別紙

図・表・式(figure, table, equation)

Image layout(size) 3 per page

--	Label		Title/Caption	File upload
remove	PDF	1	研究会申請	D:\My Documents\NOUS_test\6-30研究会_f 参照 upload
Display Download PDF File Name : 6-30研究会_final.pdf				
remove				参照 upload

No Image

[add row](#)

図・表の添付は5点以内になしてください

③ー7入力例／大型スペクトログラフ共同利用実験 申請基本情報タブ

①提案代表者及び所内対応者は研究者検索機能から入力(入力方法は「2.申請(基本)」の③詳細1を参照)

2019年度 大型スペクトログラフ共同利用実験申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

②研究課題名はテキスト入力

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 実験内容(details) - 1

4. 実験内容(details) - 2

5. 研究業績

6. 図表・別紙

自然科学研究機構
基礎生物学研究所長 殿

③実験課題の該当番号を選択して
チェックを入れる

整理 No. (研究所側入力欄)	
申込者 (提案代表者)	①
研究課題名	② test_大型スペクトログラフ共同利用実験
実験課題 (該当課題番号を選択してください)	③ ☐ I 「光情報による細胞機能の制御」 ☒ II 「光エネルギー変換」 ☐ III 「生物における空間認識・明暗認識」 ☐ IV 「紫外線による生体機能損傷と光回復」
所内対応者	① 基礎生物学研究所における対応者 (研究部門・氏名あるいは「光学解析室 亀井保博 特任准教授」)
所属長による承認	④ 本研究課題の申込みにあたり、必ず所属長の承認を得てください。 (承認を得た後、以下についてご記入ください。) 所属長の職名 ○○大学大学院○○研究科長 所属長の氏名 ○○ ○○ 承認を得た日付 2018-12-03 ※所属長とは、申込者が本研究課題を申込むことについて、所属機関として承認することができる立場にある方を指します。(大学においては、学長、学部長、研究科長等が一般的です。) ※所属長の承認を得るにあたっては、一時保存した本申込様式をpdfファイルに出力したものを事務担当部署に提出する等、各機関において必要とされる手続きを行ってください。 ※所属長の承認が得られていないことが判明した場合、申込みを無効とし、採択済であれば採択を取消す場合があります。

④共同利用研究を申込むにあたり、承認を得た所属長の職名及び氏名を入力する
承認を得た日付はカレンダーより選択

③ー7入力例／大型スペクトログラフ共同利用実験 申請基本情報タブ

入力方法の詳細は「2.申請(基本)」
の③詳細2-2をご覧ください。

2019年度 大型スペクトログラフ共同利用実験申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 実験内容(details) - 1

4. 実験内容(details) - 2

5. 研究業績

6. 図表・別紙

分担者の所属・職・氏名

(実験をグループで行う場合に記入してください。実験補助者として学部学生を登録することも可能です)

(未所日程については、[+]を押下すると入力欄が表示されます。必要に応じて適宜[+]を押下して入力欄を追加してください。)

	氏名	所属大学・研究機関	所属学部・研究科等	職名	来所日程
提案代表者 remove					- 1 泊 2 日 3 回
					- 2 泊 3 日 1 回
					+
所内対応者 remove					- 2 泊 3 日 3 回
					+
分担者 remove					+

add row (分担者)

mail to member(s) ※一時保存してからご利用ください。

合計 (Total) 2 名 (Members)

組織表ダウンロード

③ー7入力例／大型スペクトログラフ共同利用実験 実験内容-1 タブ

字数制限テキスト入力の項目は上限を超えないようにカウンタの数字を確認する

2019年度 大型スペクトログラフ共同利用実験申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 実験内容(details) - 1

4. 実験内容(details) - 2

5. 研究業績

6. 図表・別紙

実験計画書

1. 研究の目的 (500字以内)

研究の背景、意義及び予定の期間内に明らかにしようとする事項を具体的に記入してください。

[500 文字] > 単語 : 30

2. 実験計画及び方法 (500字以内)

この計画書の 7 以下との関連がわかるように記入してください。

[481 文字] > 単語 : 23

3. 大型スペクトログラフを利用する必要性 (500字以内)

[226 文字] > 単語 : 10

4. 準備状況又は継続の必要性 (1000字以内)

新規申請の場合：これまでの研究経過と準備状況

継続申請の場合：継続の必要性とこれまでの研究成果

[325 文字] > 単語 : 14

新規申請の場合はこれまでの研究経過と準備状況，継続申請の場合は継続の必要性とこれまでの研究成果を記入する

5. 所内対応者、提案者の役割について (500字以内)

所内対応者、提案者

③ー7入力例／大型スペクトログラフ共同利用実験 実験内容-2 タブ

2019年度 大型スペクトログラフ共同利用実験申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information) 2. 組織(members) 3. 実験内容(details) - 1 4. 実験内容(details) - 2 5. 研究業績 6. 図表・別紙

6. 実験に使用する生物体	培養細胞			
7. 実験に使用する生物の基礎生物学研究所での培養育成条件	温度	37℃	光源	なし
	湿度	規定なし	光強度	規定なし
8. 照射条件	明暗周期	なし	期間	照射日とその前後1日
	必要スペース	インキュベーター内	その他	
	生物容器の形・大きさ・材質	プラスチックシャーレ マルチウエルプレート		
	被照射面の形・大きさ	最大50mmφ		
	照射方向	垂直		
	温度	室温(25℃)		
	波長	300-800 nm		
	(μmol・m ⁻² ・秒 ⁻¹ 又はW・m ⁻² で表示)	光強度		
スペクトロ	1-100W/m ²			
1回の照射時間及び照射回数	スペクトロ		4-5時間×1回	
9. アウトプット、遺伝子組換え、動物実験等について	(ア) アウトプット	☐ 有	☒ 無	
	(イ) 遺伝子組換え	☐ 有	☒ 無	
	(ウ) 動物実験	☐ 有	☒ 無	
	(エ) ヒトゲノム・遺伝子解析	☐ 有	☒ 無	
	(オ) 生物機能情報解析	☐ 有	☒ 無	
	(カ) 大型電子計算機	☐ 有	☒ 無	
	(キ) 光学解析装置：顕微鏡	☒ 有	☐ 無	
10. その他の参考事項 (必要な備品・消耗品があればご記入ください)	実験に必要とする備品 経量計(数量測定のため)、クリーンベンチ・炭酸ガス培養装置(細胞培養のため)、実体顕微鏡(培養細胞取扱のため)			

①テキスト入力

②(ア)～(ク)の項目について
該当の有無をチェック

③必要な備品・消耗品がある場合
に記入する

③ー7入力例／大型スペクトログラフ共同利用実験 研究業績タブ

入力方法の詳細は「2.申請(基本)」
の③詳細3をご覧ください。

2019年度 大型スペクトログラフ共同利用実験申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 実験内容(details) - 1

4. 実験内容(details) - 2

5. 研究業績

6. 図表・別紙

研究業績（国際学術誌に公表されたもののみ）

提案代表者について大型スペクトログラフ共同利用実験の成果はすべて記入し、成果のチェックボックスにチェックを入れること。

さらに最近 5 年間の主要な学術研究論文を10報程度、発表年次の順に記入すること。

提案代表者		成果	著者・論文(著書)名・学協会誌(発行所)名・巻・頁・発行年	DOI
基生研 花子	☒	☐	Ritsuko Takada, Yusuke Mii, Elena Krayukhina, Yuusuke Maruyama, Kazuhiro Mio, Yoshikazu Sasaki, Takao Shinkawa, Chan-Gi Pack, Yasushi Sako, Chikara Sato, Susumu Uchiyama, and Shinji Takada Assembly of protein complexes restricts diffusion of Wnt3a proteins Communications Biology 2018 Oct 10	10.1038/s42003-018-0172-x 
	☒	☐		

③ー7入力例／大型スペクトログラフ共同利用実験 図表・別紙タブ

入力方法の詳細は「2.申請(基本)」
の③詳細4をご覧ください。

2019年度 大型スペクトログラフ共同利用実験申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information) 2. 組織(members) 3. 実験内容(details) - 1 4. 実験内容(details) - 2 5. 研究業績 6. 図表・別紙

Image layout(size) 3 per page

--	Label	Title/Caption	File upload
remove	PDF 1	大型スペクトログラフ 補足	D:\My Documents\NOUS test\1-30大ス 参照... upload
Display Download PDF File Name : 1-30大スベ.pdf			
remove			参照... upload

No Image

[add row](#)

図・表の添付は5点以内にしてください

③ー8入力例／トレーニングコース 申請基本情報タブ

2019年度 トレーニングコース実施申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 実施内容(details)

4. 旅費・消耗品等

5. 図表・別紙

自然科学研究機構
基礎生物学研究所 殿

申込者 (提案代表者)	①					
トレーニングコース題目 (100字以内)	②	[14 文字] > 単語 : 1 test_トレーニングコース				
実施希望年月日	③	開始日 2019-07-01 終了日 2019-07-02				
所属長による承認	④	本研究課題の申込みにあたり、必ず所属長の承認を得てください。 (承認を得た後、以下についてご記入ください。) <table border="1"> <tr> <td>所属長の職名</td> <td>国立大学法人〇〇大学大学院〇〇研究科長</td> </tr> <tr> <td>所属長の氏名</td> <td>〇〇 〇〇</td> </tr> </table> 承認を得た日付 2018-12-03 ※所属長とは、申込者が本研究課題を申込みることについて、所属機関として承認することができる立場にある方を指します。(大学においては、学長、学部長、研究科長等が一般的です。) ※所属長の承認を得るにあたっては、一時保存した本申込様式をpdfファイルに出力したものを事務担当部署に提出する等、各機関において必要とされる手続きを行ってください。 ※所属長の承認が得られていないことが判明した場合、申込みを無効とし、採択済であれば採択を取消す場合があります。	所属長の職名	国立大学法人〇〇大学大学院〇〇研究科長	所属長の氏名	〇〇 〇〇
所属長の職名	国立大学法人〇〇大学大学院〇〇研究科長					
所属長の氏名	〇〇 〇〇					

①提案代表者及び所内対応者は研究者検索機能から入力(入力方法は「2.申請(基本)」の③詳細1を参照)

②トレーニングコース題目はテキスト入力

③開催希望年月日の開始日と終了日はカレンダーより選択(3日以内)

④共同利用研究を申込むにあたり、承認を得た所属長の職名及び氏名を入力する
承認を得た日付はカレンダーより選択

③ー8入力例／トレーニングコース 組織タブ

2019年度 トレーニングコース実施申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

入力方法の詳細は「2.申請(基本)」
の③詳細2-1をご覧ください。

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 実施内容(details)

4. 旅費・消耗品等

5. 図表・別紙

講師及び協力者

(実習補助者として学部学生を登録することも可能です)

	氏名	所属大学・研究機関	所属学部・研究科等	職名	備考
提案代表者 remove					
協力者 remove					
協力者 remove					
協力者 remove					
協力者 remove					

add row (協力者)

mail to member(s) ※一時保存してからご利用ください。

合計 (Total)

4

名 (Members)

組織表ダウンロード

* 所内の教授、准教授又は助教が少なくとも 1 人は企画に関わり、申込者（提案代表者）になることを前提とします。

* 申込者（提案代表者）は、別途基生研受付で室の予約をしてください。

③ー8入力例／トレーニングコース 実施内容タブ

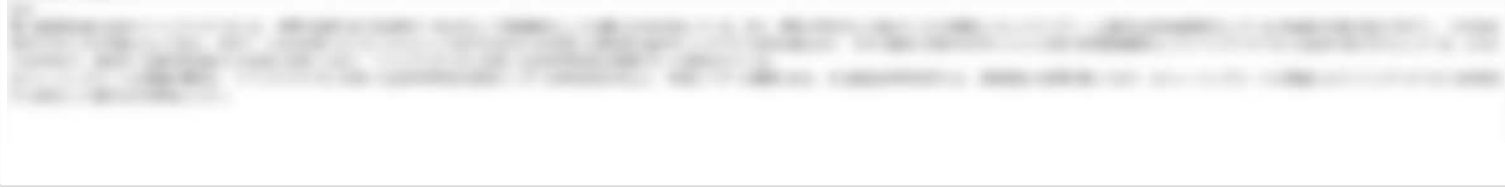
字数制限テキスト入力の項目は上限を超えないようにカウンタの数字を確認する

2019年度 トレーニングコース実施申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。
<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information) 2. 組織(members) 3. 実施内容(details) 4. 旅費・消耗品等 5. 図表・別紙

実施計画書

1. トレーニングコース実施の目的 (500字以内)	[479 文字] > 単語 : 24 
2. 利用機器 (500字以内)	実習室概要 : http://www.nibb.ac.jp/course_lab/ の機器リストを参照ください。 [226 文字] > 単語 : 25 
3. 実施計画 (500字以内)	受講生の数、日程などについて [80 文字] > 単語 : 6 
4. 準備状況 (500字以内)	[493 文字] > 単語 : 40 

③ー8入力例／トレーニングコース 実施内容タブ

2019年度 トレーニングコース実施申込書

①実習に関する消耗品費について
の内訳を記入する

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

②講師及び補助者の旅費について
記入する

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 実施内容(details)

4. 旅費・消耗品等

5. 図表・別紙

実習に要する消耗品等

※講師・補助者旅費ならびに消耗品費に関して細かい内訳を記載ください。合計50万円まで。

※①②の合計は50万円を上限とする

品名・規格	数量	単価	
実習テキスト印刷費（バインダー・インク等） remove	1	20000	20000
sgRNA合成キット remove	1	70000	70000
Cas9タンパク質 remove	1	30000	30000
		合計	120000

add row

旅費	35 万円
内訳	講師 7万円 実習補助者 28万円

③ー8入力例／トレーニングコース 図表・別紙タブ

入力方法の詳細は「2. 申請(基本)」
の③詳細4をご覧ください。

2019年度 トレーニングコース実施申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 実施内容(details)

4. 旅費・消耗品等

5. 図表・別紙

図・表・式(figure, table, equation)

Image layout(size) 3 per page

--	Label	Title/Caption	File upload
remove	PDF 1	トレーニングコース 補足	D:\My Documents\NOUS test\トレーニング 参照 upload
Display Download PDF File Name : トレーニングコース.pdf			
remove			参照 upload

No Image

[add row](#)

図・表の添付は5点以内になしてください

③ー9入力例／生物遺伝資源保存技術開発共同利用研究 申請基本情報タブ

①提案代表者及び所内対応者は研究者検索機能から入力(入力方法は「2.申請(基本)」の③詳細1を参照)

2019年度 生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究申込書

②研究課題名はテキスト入力

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details)

4. 研究業績

5. 図表・別紙

自然科学研究機構
基礎生物学研究所長 殿

③研究期間の開始日と終了日はカレンダーより選択

④前年度以前から継続して申請する場合は開始年度をドロップダウンより選択

⑤共同利用研究を申込むにあたり、承認を得た所属長の職名及び氏名を入力する
承認を得た日付はカレンダーより選択

⑥字数制限テキスト入力の項目は上限を超えないようにカウンタの数字を確認する

整理 No. (研究所側入力欄)	
申込者 (提案代表者) ①	
研究課題名 ②	test_生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究
研究期間 ③	研究開始日 2019-04-01 研究終了日 2020-03-31
新規・継続 ④	☐ 新規申請 ☒ 継続申請 継続 2018
所内対応者 ①	
所属長による承認 ⑤	本研究課題の申込みにあたり、必ず所属長の承認を得てください。 (承認を得た後、以下についてご記入ください。) 所属長の職名 ○○大学大学院○○研究科長 所属長の氏名 ○○ ○○ 承認を得た日付 2018-12-03 ※所属長とは、申込者が本研究課題を申込むことについて、所属機関として承認することができる立場にある方を指します。(大学において) ※所属長の承認を得るにあたっては、一時保存した本申込様式をpdfファイルに出力したものを事務担当部署に提出する等、各機関において ※所属長の承認が得られていないことが判明した場合、申込みを無効とし、採択済であれば採択を取消す場合があります。
希望事項 (500字以内) ⑥	[39 文字] > 単語 : 1

③ー9入力例／生物遺伝資源保存技術開発共同利用研究組織タブ

2019年度 生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

入力方法の詳細は「2.申請(基本)」の③詳細2-1をご覧ください。

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details)

4. 研究業績

5. 図表・別紙

分担者の所属・職・氏名

(研究補助者として学部学生を登録することも可能です)

	氏名	所属大学・研究機関	所属学部・研究科等	職名
提案代表者 remove				
所内対応者 remove				
分担者 remove				

add row (分担者)

mail to member(s) ※一時保存してからご利用ください。

合計 (Total) 2 名 (Members)

組織表ダウンロード

③－9入力例／生物遺伝資源保存技術開発共同利用研究 研究内容タブ i

字数制限テキスト入力の項目は上限
を超えないようにカウンタの数字を確認する

2019年度 生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

新規申請の場合はこれまでの研究
経過と準備状況、継続申請の場合
は継続の必要性和これまでの研究成
果を記入する

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details)

4. 研究業績

5. 図表・別紙

研究計画書

1. 研究の目的 (500字以内)

[459 文字] > 単語 : 17

2. 研究計画 (2000字以内)

[199 文字] > 単語 : 8

3. 準備状況又は継続の必要性 (1000字以内)

新規申請の場合：これまでの研究経過と準備状況
継続申請の場合：継続の必要性和これまでの研究成果
[179 文字] > 単語 : 7

4. 共同利用研究として推進する必要性 (500字以内)

[187 文字] > 単語 : 8

5. 所内対応者と提案代表者及び共同利用研究者の役割分担 (500字以内)

[138 文字] > 単語 : 5

③ー9入力例／生物遺伝資源保存技術開発共同利用研究 研究内容タブ ii

字数制限テキスト入力の項目は上限
を超えないようにカウンタの数字を確認する

2019年度 生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

(ア)～(ク)の項目について該当の
有無をチェック

1. 申請基本情報(basic information) 2. 組織(members) 3. 研究内容(details) 4. 研究業績 5. 図表・別紙

研究概要書

6. アイントープ、遺伝子組換え、動物実験等について（所内施設
を利用する場合）

- (ア) アイントープ ☐ 有 ☒ 無
(イ) 遺伝子組換え ☐ 有 ☒ 無
(ウ) 動物実験 ☐ 有 ☒ 無
(エ) ヒトゲノム・遺伝子解析 ☐ 有 ☒ 無
(オ) 光学解析室：大型スペクトログラフ ☐ 有 ☒ 無
光学解析室：顕微鏡 ☐ 有 ☒ 無
(カ) 生物機能情報分析室 ☐ 有 ☒ 無
(キ) 電子顕微鏡 ☐ 有 ☒ 無
(ク) 大型電子計算機 ☐ 有 ☒ 無

7. 使用する生物種と、観察時や、短期保管に必要な施設や条件
（温度・湿度・海水など）について（所内施設を利用する場合）
（500字以内）

[26 文字] > 単語 : 3
使用する生物種：ミヤコグサ、バヒアグラス、チャイブ等

8. 必要とする研究費の内訳

所内対応者と十分研究計画を打合せの上、200万円を限度として記入してください。（人件費の支出はできません。）

旅 費	50	千円
消耗品費	150	千円
その他印刷製本費等	0	千円
合 計	200	千円

合計は一時保存後に自動表示されます。

③ー9入力例／生物遺伝資源保存技術開発共同利用研究 研究業績タブ

入力方法の詳細は「2.申請(基本)」
の③詳細3をご覧ください。

2019年度 生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details)

4. 研究業績

5. 図表・別紙

研究業績

提案代表者が最近5年間に国際学術誌に公表した主要な学術研究論文を記載すること。 ※本研究所共同利用研究の成果である論文については、必ず成果のチェックボックスにチェックを入れること。

提案代表者		成果	著者・論文(著書)名・学協会誌(発行所)名・巻・頁・発行年	DOI
	☒	☒	Ritsuko Takada, Yusuke Mii, Elena Krayukhina, Yuusuke Maruyama, Kazuhiro Mio, Yoshikazu Sasaki, Takao Shinkawa, Chan-Gi Pack, Yasushi Sako, Chikara Sato, Susumu Uchiyama, and Shinji Takada Assembly of protein complexes restricts diffusion of Wnt3a proteins Communications Biology 2018 Oct 10	10.1038/s42003-018-0172-x
基生研 花子	☒	☐		
	☒	☐		

③ー9入力例／生物遺伝資源保存技術開発共同利用研究 図表・別紙タブ

入力方法の詳細は「2.申請(基本)」
の③詳細4をご覧ください。

2019年度 生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究申込書

2019年度基礎生物学研究所共同利用研究の申込みにあたっては、以下のURLのHPに掲載された公募要項等を必ずご確認ください。

<http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html>

1. 申請基本情報(basic information)

2. 組織(members)

3. 研究内容(details)

4. 研究業績

5. 図表・別紙

図・表・式(figure, table, equation)

Image layout(size) 3 per page

--	Label	Title/Caption	File upload
remove	PDF 1	生物遺伝資源保存技術開発共同利用研究 補足	D:\My Documents\NIOUS_test\生物遺伝資源\ 参照 upload
Display Download PDF File Name : 生物遺伝資源保存技術.pdf			
remove			参照 upload

No Image

[add row](#)

図・表の添付は5点以内にしてください